

令和6年度 主要な施策の 成果報告書

小 浜 市

地方自治法第233条第5項の規定により、令和6年度における主要な施策の成果を説明する書類を次のように提出する。

令和7年9月1日

小浜市長 杉 本 和 範

一般会計 課別目次

D X推進室・・・・・・・・・・3-4

【総務部】

生活安全課・・・・・・・・・・5

【企画部】

未来創造課・・・・・・・・・・2

新幹線・交通まちづくり課・・・・1.4-5

コミュニティ支援課・・・・・・・・1-3

食のまちづくり課・・・・・・・・・・38-40

営繕管財課・・・・・・・・・・1.45

【民生部】

子ども未来課・・・・・・・・・・11-16.17-19

高齢・障がい者元気支援課・・・・7-11.16-17

環境衛生課・・・・・・・・・・19-21

市民福祉課・・・・・・・・・・6.10

【産業部】

商工振興課・・・・・・・・・・22-24.32-34

文化観光課・・・・・・・・・・6.35-38.51-53

農政課・・・・・・・・・・25-28

里山里海課・・・・・・・・・・24-25.28-31

都市整備課・・・・・・・・・・40-45

【教育委員会】

教育総務課・・・・・・・・・・45-49

生涯学習スポーツ課・・・・・・・・49-51.53-55

特別会計 目次

【国民健康保険事業特別会計】

市民福祉課・・・・・・・・・・56-58

子ども未来課・・・・・・・・・・57-58

【後期高齢者医療特別会計】

市民福祉課・・・・・・・・・・59

【介護保険事業特別会計】

高齢・障がい者元気支援課・・・・60-64

【産業団地整備事業特別会計】

商工振興課・・・・・・・・・・65

企業会計 目次

【水道事業会計】

上下水道課・・・・・・・・・・66

【下水道事業会計】

上下水道課・・・・・・・・・・67

一 般 会 計

款	頁
総務費	1
民生費	6
衛生費	17
労働費	22
農林水産業費	24
商工費	32
土木費	40
教育費	45

令和6年度

一般会計

企画部

営繕管財課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 財産管理費
事業名		財産管理経費			
予算額		62,365,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		11,953,000 円
決算額		55,252,274 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 旧宮川小学校のプールおよび旧宮川児童館の解体・除却を実施した。跡地については、体育館およびコミュニティセンター施設の利用者用駐車場として活用している。			〔今後の課題・方向性など〕 普通財産施設は老朽化が進行しており、安全性の観点から計画的に除却していく必要がある。 (R7実施予定) 旧遠敷小学校旧校舎・体育館解体工事設計業務		

令和6年度

一般会計

企画部

新幹線・交通まちづくり課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
事業名		北陸新幹線建設促進事業			
予算額		9,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		9,306,880 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 北陸新幹線敦賀・新大阪間の早期全線開業に向けて、国、政府与党に対する要望活動および市民と一体となった決起大会の開催、SNSやメディアを通じた幅広い広報活動、イベントでのPR活動等を実施した。また、沿線住民や市民の機運醸成を図るため、「北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現市民協議会」に対し補助を行った。市民協議会では、啓発動画の作成やPRグッズ作成などを行った。			〔今後の課題・方向性など〕 北陸新幹線敦賀・新大阪間の早期認可・着工に向けて、環境影響評価や着工5条件の早期解決など、認可・着工までの手続きを早急に進める必要がある。そのため、官民が一体となった要望活動および効果的な広報啓発活動、沿線市町の機運醸成を引続きオール小浜体制で行っていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

企画部

コミュニティ支援課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
事業名		ふるさと未来づくり協働推進事業			
予算額		21,039,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		21,037,980 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 各地区まちづくり協議会に対して、ふるさと未来づくり協働推進事業交付金を交付した。地域住民が主体となり、地域の実情に即した課題の解決やまちづくりの活動が推進され、地域コミュニティの形成に繋がった。			〔今後の課題・方向性など〕 12地区のまちづくり協議会に対する交付金について、人口割配分の段階的な増額と地区提案枠を引き続き推進していく。		

令和6年度

一般会計

企画部

未来創造課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
事業名		ふるさと納税事業			
予算額		302,665,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		270,084,079 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 ふるさと納税を推進し、地域経済や地場産業の活性化を図るとともに本市の魅力発信を行った。令和6年度は一般寄附金で5億2810万1千円、企業版寄附金で140万円の寄附を受け入れた。また、ガバメントクラウドファンディングを2件実施し、計115万4千円の寄附を受け入れた。			〔今後の課題・方向性など〕 地元事業者との連携強化を図り、新たな返礼品の掘り出しを行う。既存返礼品は、寄附者ニーズに対応した内容に磨き上げる。ポータルサイトの返礼品画像の作り込みや、広告運用等を実施し、新たな寄附者を増やす。ガバメントクラウドファンディング、企業版ふるさと納税については、寄附サイトなどを活用し本市の施策を広くPRする。		

令和6年度

一般会計

企画部

コミュニティ支援課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
事業名		コミュニティセンター運営管理費			
予算額		162,009,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		13,814,000 円
決算額		156,662,483 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 コミュニティセンター施設の消防用設備(放送設備等)の設置工事を行った(前年度からの繰越分)。社会教育および協働のまちづくりの拠点施設として、多くの方に利用されており、地域コミュニティの活性化に寄与した。 令和6年度 利用者数 6,452件、81,204人 (参考：令和5年度 利用者数 6,294件、79,887人)			〔今後の課題・方向性など〕 まちづくり活動等の利用のほか、一般事業者や各種団体の利用など、様々な用途での施設利用の周知を行い、コミュニティセンターの施設利用を促進していく。		

令和6年度

一般会計

企画部

コミュニティ支援課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
事 業 名		コミュニティセンター施設維持補修費			
予 算 額		10,181,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決 算 額		10,180,150 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 コミュニティセンター施設の機能維持のため、補修を行った。 ・西津コミュニティセンター防水工事 5,863,000円 ・口名田コミュニティセンタースロープ設置1,210,000円 ・遠敷コミュニティセンター駐輪場取替 498,300円 ・他 24件 2,608,850円			〔今後の課題・方向性など〕 施設の経年劣化が進んでおり、今後も、個別施設計画に基づき、計画的な施設の維持補修を図る。		

令和6年度

一般会計

企画部

コミュニティ支援課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
事業名		コミュニティセンター照明器具LED化事業			
予算額		13,934,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		13,091,100 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 コミュニティセンター3施設において、照明器具のLED化を行った。 ・小浜コミュニティセンター 7,932,100円 ・宮川コミュニティセンター 3,410,000円 ・中名田コミュニティセンター 1,749,000円			〔今後の課題・方向性など〕 順次、照明器具のLED化を進めていく。 (予定) ・令和7年度 2施設（内外海、今富） ・令和8年度 4施設（国富、松永、遠敷、加斗）		

令和6年度

一般会計

DX推進室

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 I T 推進事業費
事 業 名		D X 人材育成事業			
予 算 額		5,580,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決 算 額		5,580,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 国の制度を活用し、地域活性化起業人としてDX人材を外部から招聘した。 令和6年度は、BPRを本格的に推進した。まず、課長補佐以上の職員を対象とした研修会で理解を深めて着手し、進捗状況を16ステップに分けて管理した。全課が取組に着手し、8課が完了した結果、業務時間を2,524時間削減できた。 また、職員のスキル調査を実施して、今後の業務に必要な研修会を開催し、職員のデジタルスキル向上を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 研修で身に着けたスキルをいかに実務で活用するかが課題。 地域活性化起業人制度の期間は3年間で、令和7年度で一旦終了となるため、令和7年度中の人材育成が重要である。		

令和6年度

一般会計

DX推進室

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 IT推進事業費
事業名		基幹システム標準化事業			
予算額		132,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		126,353,036 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律で義務化された住民情報システムの標準化対応のためのシステム更新を行う。 令和6年度は、詳細な要件定義を行い、令和7年度末までに標準準拠システムに移行を完了するため、システム改修に着手した。			〔今後の課題・方向性など〕 令和7年11月の標準準拠システムへの更新・切替作業をスムーズに実施することが課題。システム管理・運用の対応のほか、市民に影響する帳票様式の変更などについての周知も進めていく。		

令和6年度

一般会計

DX推進室

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 I T推進事業費
事業名		電子決裁システム導入事業			
予算額		9,097,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,525,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 事務決裁を電子化し、利便性・効率化を図るとともに、紙での決裁を削減し、ペーパーレスを推進する文書管理システムの導入、財務会計システムで電子決裁機能を利用するための設定作業を行い、令和7年4月から事務の電子決裁化を開始した。			〔今後の課題・方向性など〕 現在は移行期間中であり、一部紙決裁が残っている。すべての決裁の電子化を進めるとともに、電子決裁システム利用がより事務効率化に役立つよう、電子決裁を前提とした業務方法の見直しを支援する。		

令和6年度

一般会計

企画部

新幹線・交通まちづくり課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	18 公共交通対策費
事業名		公共交通機関利用促進事業			
予算額		3,649,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,437,610 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 小浜線の利用促進策として、団体利用、高校生等の通学定期に対する助成、親子での乗車や高齢者の利用に対し助成を実施した。 小浜市生活路線バス（あいあいバス、名田庄線「流星」）の利用促進策として、高校生等の通学定期に対する助成を実施した。 また、各種助成について電子申請による受付を行い、申請者の負担を軽減した。			〔今後の課題・方向性など〕 公共交通機関の利用者減少が続いている。小浜線については、市および小浜線利用促進協議会において効果的な利用促進に努めるとともに、北陸新幹線敦賀開業効果を持続的に波及させるため、小浜線沿線観光活性化会議において県、沿線市町およびJR西日本等が一体となって小浜線の利用促進および嶺南地域の活性化に取り組む。 また、小浜市生活路線バスについても、利用促進等、利用者拡大に繋がる取組を行う。		

令和6年度

一般会計

企画部

新幹線・交通まちづくり課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	18 公共交通対策費
事業名		地域生活路線バス運行対策事業			
予算額		111,999,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		109,255,420 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 学生の通学・高齢者の通院等、地域公共交通として重要な役割を果たしているあいあいバス、流星号の運行に係る経費を補助した。			〔今後の課題・方向性など〕 少子高齢化の進展が見込まれる中、市民の移動ニーズや地域の実情等を踏まえ、持続可能な公共交通手段を確保することが必要である。 今後は、あいあいバスの利便性向上や利用促進、運行形態、収支改善を図るための検討を産学官連携のもと進めていく。		

令和6年度

一般会計

企画部

新幹線・交通まちづくり課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	18 公共交通対策費
事業名		次世代タクシー導入支援事業			
予算額		5,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,600,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 オートガスタン드의撤退に伴い、LPGタクシーから省エネ車への更新にかかる費用の一部について支援を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 市内唯一のLPG充填工場の閉鎖に伴い、買い替えを余儀なくされたLPGタクシーの更新に係る費用の一部を支援し、地域公共交通の持続的な維持を図る。また、環境にやさしい車両に更新することにより、温室効果ガス排出削減にも貢献する。		

令和6年度

一般会計

総務部

生活安全課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	20 総合防災費
事業名		防災維持管理経費			
予算額		13,069,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		12,758,428 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 防災行政無線や市防災メール等の情報伝達システムを適正に維持管理することにより、防災・減災対策の充実を図ることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 平成26年に供用開始し、推奨耐用年数である9年を超えた防災行政無線設備を適正に管理していくために、令和6年度から実施している設備更新工事を令和7年度で完了し、長寿命化を図る。		

令和6年度

一般会計

総務部

生活安全課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	20 総合防災費
事業名		防災体制整備事業			
予算額		240,974,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		238,815,423 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 海拔表示板を作成、沿岸地区内に設置し、住民の津波避難に対する意識の高揚を図るとともに、円滑な避難のための環境を整えた。 また、防災行政無線の設備更新を2か年で実施するべく、初年度分の工事を実施し、情報伝達手段の強化を図った。 さらに、発電機や簡易トイレ等を整備し、防災資機材の充実および市指定避難所環境の向上を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 住民が、災害時に自らの判断で適切な避難行動がとれるよう、海拔表示板の設置場所やハザードマップの見方等について、平時から出前講座等の機会を通じて引き続き周知していく。3日分の飲料水や食料、生活用品の備蓄に取り組むとともに住民への啓発を図る。 また、市指定避難所等への発電機や簡易トイレ等の防災資機材の分散配備を推進し、避難所環境の向上を図る。		

令和6年度

一般会計

総務部

生活安全課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	20 総合防災費
事業名		コミュニティ助成事業（地域防災組織育成）			
予算額		2,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市が、一般財団法人自治総合センターの助成事業（補助率100%・上限額200万円）を活用し、区内で防災活動の中核を担う「尾崎区自主防災会」の小型消防ポンプ、消防ホース等の整備を支援することで地域の防災力の向上を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 自主防災組織への助成に努め、地域の防災力強化や市民の防災意識の向上に繋げていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	22 駐車場事業費
事業名		駐車場管理運営費			
予算額		8,292,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,036,807 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市営広峰駐車場の機器入替に伴い、キャッシュレスに対応した機器を導入したことで、利用者の利便性を向上させることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 市営駅前駐車場および市営大手第一駐車場の機器について、順次入替を実施することで、利用者の利便性を高め、利用者数の増加を図る。		

令和6年度

一般会計

民生部

市民福祉課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
事業名		物価高騰緊急支援給付金給付事業			
予算額		42,977,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		42,973,286 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 物価高騰による負担増を踏まえ、令和6年度、新たな低所得世帯（非課税世帯と均等割のみ課税世帯）に対して、1世帯当たり10万円、加えて18歳以下の児童に対して、1人当たり5万円の現金を「プッシュ型」で給付した。 申請期間 令和6年7月10日～11月20日 対象者 令和6年6月3日に小浜市の住民基本台帳に登録されている者 対象数 409世帯 支給数 393世帯 支給率 96.1%(世帯)			〔今後の課題・方向性など〕 本市では、対象者の抽出から給付管理までをシステム事業者に委託することなく実施し、他自治体と比較すると、早いタイミングで通知、給付が行えている。管理システムを構築できる職員が限られているのが課題となっている。 繰越で事業継続し、最終で393世帯への支給となった。		

令和6年度

一般会計

民生部

市民福祉課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
事業名		住民税非課税世帯臨時特別給付金給付事業			
予算額		105,556,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		77,476,289 円	次年度への繰越額		4,206,000 円
〔成果〕 物価高騰による負担増を踏まえ、住民税が非課税の世帯に対して、1世帯当たり3万円、加えて18歳以下の児童に対して、1人当たり2万円の現金を「プッシュ型」で給付した。 申請期間 令和7年2月1日～5月30日 対象者 令和6年12月13日に小浜市の住民基本台帳に登録されている者 対象数 2,504世帯 支給数 2,459世帯 支給率 98.2%(世帯)			〔今後の課題・方向性など〕 本市では、対象者の抽出から給付管理までをシステム事業者に委託することなく実施し、他自治体と比較すると、早いタイミングで通知、給付が行えている。管理システムを構築できる職員が限られているのが課題となっている。 繰越で事業継続し、最終で2,459世帯への支給となった。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費
事業名		福祉事業所等物価高騰対策支援事業			
予算額		8,925,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,480,180 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 電気料金等の高騰の影響が大きく見込まれる福祉施設等に対し、電気料金の高騰分の一部を支援することで介護・障がいサービスの安定した事業運営を支援した。支給件数：289件			〔今後の課題・方向性など〕 支援を継続して行い、経済的負担の軽減に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障害者福祉費
事業名		重度障害者（児）医療無料化対策事業			
予算額		126,305,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		124,309,576 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 重度障がい者（児）に係る医療費の自己負担分の一部を助成することにより、適正な医療を給付し、健康保持および福祉を増進させる効果があった。 ・助成件数 延べ23,086件			〔今後の課題・方向性など〕 助成を継続し、経済的負担の軽減を図る。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障害者福祉費
事業名		自立支援医療事業			
予算額		33,810,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		30,689,464 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 障がい除去および軽減する手術等に必要医療費の一部を負担することにより、障がい者の経済的負担を軽減した。 ・ 自立支援医療給付（更生医療） 受給者 48人 ・ 〃 （育成医療） 〃 3人 ・ 〃 （療養医療） 〃 3人			〔今後の課題・方向性など〕 医療費の一部負担を継続し、経済的負担の軽減を図る。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障害者福祉費
事業名		介護給付事業			
予算額		335,369,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		330,032,361 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 日常生活に必要な支援を受けた場合に、そのサービスの利用に要する費用を支給し、介護者の負担軽減および障がい者の社会参加を促進した。			〔今後の課題・方向性など〕 65歳以上の方の介護保険制度への移行を促す。		
利用者 決算額					
・ 居宅介護 86人 52,703,239円					
・ 同行援護 11人 3,014,387円					
・ 行動援護 3人 1,171,420円					
・ 短期入所 26人 5,499,011円					
・ 生活介護 90人 179,648,942円					
・ 療養介護 3人 9,530,010円					
・ 施設入所支援 48人 78,465,352円					

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障害者福祉費
事業名		訓練等給付事業			
予算額		394,988,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額	0 円
決算額		378,665,923 円		次年度への繰越額	0 円
〔成果〕 身体的、社会的なリハビリテーションや就労に繋がるサービスを利用した場合に、そのサービスの利用に要する費用を支給し、障がい者の社会参加を促進した。			〔今後の課題・方向性など〕 就労継続支援の利用者が増加しており、給付費が増大している。就労定着支援事業所の確保に努め、一般就労への移行を推進する。		
		利用者	決算額		
・ 自立訓練		2人	832,987円		
・ 就労移行支援		5人	2,073,953円		
・ 就労継続支援A型		45人	80,992,158円		
・ 就労継続支援B型		118人	193,446,681円		
・ 共同生活援助		49人	82,222,956円		
・ 計画相談支援		293人	19,042,988円		
・ 地域定着支援		2人	54,200円		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障害者福祉費
事業名		障害児通所等支援事業			
予算額		77,379,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額	0 円	
決算額		74,474,846 円	次年度への繰越額	0 円	
〔成果〕 児童福祉法に基づく児童発達支援等に係る給付費を支給し、サービスを提供することで、障がい児等の適切な療育を促すとともに、集団生活への適応支援および保護者等が安心して子育てできる地域づくりを推進した。			〔今後の課題・方向性など〕 放課後等デイサービスの利用が今後も増える見込みであるため、サービス提供事業者と連携し、提供体制の確保に努める。		
利用者 決算額					
・ 児童発達支援 56人 14,817,957円					
・ 居宅訪問型児童発達支援 1人 222,640円					
・ 保育所等訪問支援 65人 9,428,357円					
・ 障害児相談支援 117人 7,951,020円					
・ 放課後等デイサービス 64人 41,997,882円					
・ 高額障害児通所給付 2人 56,990円					

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費
事業名		老人保護措置事業			
予算額		64,270,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		60,294,892 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 自宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホームへ措置することで、心身の健康保持および生活の安定を図ることができた。 被措置者数（実人数） ・もみじの里 25人 ・第二光が丘ハウス 1人 ・太子園 4人			〔今後の課題・方向性など〕 要介護度が重度な入所者の特別養護老人ホームへの移転等の検討が必要である。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費
事業名		やすらぎ荘維持管理経費			
予算額		203,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		106,505 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 やすらぎ荘（老人憩いの家）を維持管理することで、 地域住民、特に高齢者の語らいの場を提供した。			〔今後の課題・方向性など〕 老朽化に伴い今後、修繕箇所が発生する可能性がある。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費
事業名		老人クラブ助成事業補助金			
予算額		2,976,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,784,060 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市老人クラブ連合会活動の促進および各単位老人クラブの育成と活動の強化を図ることができた。 〔会員数〕 ・60歳以上老人クラブ会員（補助金対象）1,361人 〔補助金〕 ・小浜市老人クラブ連合会補助金 1,500,000円 ・老人クラブ（会員数30人以上） 42,600円×25団体 ・老人クラブ（会員数15人～29人） 21,300円×9団体 ・老人クラブ（会員数5人～14人） 9,120円×3団体			〔今後の課題・方向性など〕 老人クラブの加入者の減少が進んでいることから、加入者の増加に向けた方策を研究していく必要がある。		

令和6年度

一般会計

民生部

市民福祉課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 後期高齢者医療費
事業名		後期高齢者医療広域連合事務費負担金			
予算額		22,815,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		22,814,460 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 平成20年4月から始まった後期高齢者医療制度の運営主体である福井県後期高齢者医療広域連合の運営経費を負担し、本制度の円滑な運営を図った。 R6.4～R7.3 24,902,665円 前年度精算額 △2,088,205円 差引 22,814,460円 (均等割10% 後期高齢者人口割50% 人口割40%)			〔今後の課題・方向性など〕 団塊の世代が後期高齢者医療制度に加入することとなる令和8年度における被保険者の増加に伴い負担金が増加する。		

令和6年度

一般会計

民生部

市民福祉課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 後期高齢者医療費
事業名		後期高齢者療養給付費負担金			
予算額		343,872,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		343,871,649 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 本市の後期高齢者医療制度加入者の医療費を福井県後期高齢者医療広域連合が負担し、本制度財政の安定化を図った。 ・負担割合 1割負担者の医療費の1/12 （3割負担者は社会保険診療報酬支払基金が負担） ・令和6年度概算負担額(R6.3～R7.2診療分) 327,079,404円 ・療養給付費等の実績による見直し額 9,628,538円 ・令和5年度療養給付費負担金精算不足額 7,163,707円 合計 343,871,649円 ※令和6年度の精算は令和7年度に実施			〔今後の課題・方向性など〕 団塊の世代が後期高齢者医療制度に加入することとなる令和8年度における被保険者の増加に伴い負担金が増加する。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	6 老人福祉施設費
事業名		介護施設等整備事業補助金交付事業			
予算額		15,400,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		15,400,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 施設開設から一定年数を経過して改修が必要となった外壁、屋上等について、防水改修工事を行うことで、施設利用者の安心・安全の確保を図ることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 本事業に関する周知を継続して行い、市内介護施設の整備環境改善を図る。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	10 小浜市総合福祉センター費
事業名		小浜市総合福祉センター運営事業			
予算額		15,649,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		15,441,045 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 高齢者福祉のサービス拠点である小浜市総合福祉センターを指定管理委託することにより、効果的な運営を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 大規模修繕は市が行うことになっており、建設から24年以上経過しているため、これまで以上に修繕箇所が発生する可能性がある（空調設備など）。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	10 小浜市総合福祉センター費
事業名		生きがい活動拠点施設運営事業（管理運営事業）			
予算額		538,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		467,077 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 小浜市総合福祉センター別館の生きがい活動拠点施設を維持管理することで、若狭シルバー人材センター会員だけでなく、一般高齢者も利用できる喫茶花木、バザールショップAg、刃物研ぎ等の活動の拠点としての場を提供した。			〔今後の課題・方向性など〕 今後、修繕箇所が発生する可能性がある。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		地域子育て支援事業			
予算額		20,554,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		16,686,629 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地域の子育て拠点である子育て支援センター、ハーツわくわくくらぶ「わくわく広場」、浜っ子こども園子育て支援室において、親子が交流する場の提供や子育ての相談・指導を実施し、育児不安の解消を図るなど、子育て家庭を支援した。 ・利用者数 延べ 11,893人			〔今後の課題・方向性など〕 子育て支援センターの移設に伴い、土曜日毎週開所するなど、子育て家庭が相談・参加しやすい環境作りに努め、引き続き継続していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		子ども・子育て支援事業計画策定事業			
予算額		3,680,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,680,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 第3期計画の施策展開の基本的な目標に沿って取組を進める。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		すみずみ子育てサポート事業			
予算額		8,535,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,047,400 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 仕事などのやむを得ない事由により児童を保育できない保護者に対し、一時保育サービスを提供し、子育て家庭を支援した。 ・すみずみ子育てサポート 利用者数延べ 1,225人 ・夜間保育 利用者数 0人			〔今後の課題・方向性など〕 令和3年4月から、第2子および多胎児第1子における利用料の無償化を実施しており、受入状況を踏まえながら、引き続き継続していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		一時預かり事業（一般型・幼稚園型）			
予算額		16,824,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		15,403,030 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 家庭において保育を受けることが一時的に困難な乳幼児の一時預かりを実施し、子育て家庭を支援した。 ・はましんわくわくステーション 利用者数延べ 710人 ・子育て支援センター 利用者数延べ 608人 ・聖ルカ幼稚園 利用者数延べ 1097人 ・そらのとりこども園 利用者数延べ 131人			〔今後の課題・方向性など〕 受入状況がひっ迫していたはましんわくわくステーションの一時預かりだったが、令和5年11月より支援センター内での一時預かりが始まったことで、人数が分散されて受け入れができています。今後も受入状況を踏まえながら、引き続き継続していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		病後児保育事業			
予算額		6,456,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,002,028 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 病氣回復期にある乳幼児を保護者の都合で育児ができないときに一時的に預かり、子育てと仕事等の両立を支援するための環境整備を図った。 ・バンビーナサポート 利用者数 延べ7人 ・とまと 利用者数 延べ2人 また、令和4年4月より高浜町・おおい町の病後児保育施設が利用できるよう広域連携を開始し、保護者の利便性向上を図った。 ・サン・スマイル(高浜町) 小浜市利用者数 0人 ・なごみ(おおい町) 小浜市利用者数 延べ1人			〔今後の課題・方向性など〕 令和4年4月から、第2子および多胎児第1子における利用料の無償化を実施しており、事業を充実させながら、引き続き継続していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		病児保育事業			
予算額		6,314,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,290,530 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 病気回復期に至っていない乳幼児を、保護者の都合で育児ができないとき一時的に預かり、子育てと仕事等の両立を支援するための環境整備を図った。 ・バンビーナサポート 利用者数 延べ51人 また、令和4年4月より高浜町・おおい町の病児保育施設が利用できるよう広域連携を開始し、保護者の利便性向上を図った。 ・サン・スマイル(高浜町) 小浜市利用者数 延べ0人 ・なごみ(おおい町) 小浜市利用者数 延べ 8人			〔今後の課題・方向性など〕 令和4年4月から、第2子および多胎児第1子における利用料の無償化を実施しており、事業を充実させながら、引き続き継続していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		子ども医療費助成事業			
予算額		101,914,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		99,033,691 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 18歳まで（満18歳に到達後の最初の3月31日まで）の子どもにかかる医療費を助成し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。 ・助成件数 延べ42,045件（対象3,962人）			〔今後の課題・方向性など〕 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、引き続き事業を継続していく。 県内では、本市と池田町以外の自治体で、自己負担ゼロを実施しており、本市においても完全無償化の導入を検討していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費
事業名		キッズプレイパーク「なないろ」管理運営事業			
予算額		6,093,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,813,274 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 天候に関わらず子どもが安心して遊ぶことができる遊び場を管理、運営し、子育て世代を中心とした居場所づくりを図った。 ・利用者数延べ 24,900人			〔今後の課題・方向性など〕 子どもや子育て世代が安心して遊ぶことができる遊び場として、引き続き事業を実施していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 児童措置費
事業名		児童手当支給事業			
予算額		465,248,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		444,089,869 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 中学校修了前（※令和6年10月から高校生年代）までの児童を養育する保護者に児童手当を支給し、子育てにかかる経済的支援を行った。 ※令和6年10月制度改正の主な内容 (1) 支給期間の延長（高校生年代まで） (2) 所得制限の撤廃 (3) 多子加算の増額と算定対象の拡大 (4) 支給月が年6回(偶数月)に変更 (R6.10月払(旧)) (R7.2月払(新)) 受給者 1,591人 → 1,909人 対象児童数 3,263人 → 3,721人			〔今後の課題・方向性など〕 対象者が確実に拡充分の児童手当を受けられるよう、対象者の把握や制度の周知徹底を図っていく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 児童措置費
事業名	U18すくすくおばまっ子応援事業（物価高騰対策）				
予算額	66,190,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額	64,433,966 円		次年度への繰越額		1,154,000 円
〔成果〕 物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい子育て世帯（高校生年代以下の児童を養育する世帯）に対して、対象児童1人当たり15,000円を「プッシュ型」で給付した。 対象者 令和7年2月1日時点で小浜市に住民登録がある高校生年代以下の児童を養育する保護者（令和7年3月31日出生分までを含む。） 対象児童数 4,310人（支給率100%）			〔今後の課題・方向性など〕 本市では、対象者の抽出から給付管理までをシステム事業者に委託することなく、スムーズに事業実施、給付が行えている。 管理システムを構築できる職員が限られているのが課題となっている。 繰越で事業継続し、全対象者へ給付金を支給することができた。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 母子福祉費
事業名		母子家庭等医療費助成事業			
予算額		14,470,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		12,985,963 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 20歳未満の児童を養育している母子・父子家庭の母・父・養育者・児童を対象に医療費を助成し、母子家庭等の経済的負担の軽減を図った。 ・助成件数 4,710件、対象 470人			〔今後の課題・方向性など〕 母子家庭等の経済的負担を軽減するため、引き続き事業を実施していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 母子福祉費
事業名		児童扶養手当			
予算額		84,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		78,954,140 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 母子家庭等の生活の安定を図った。 ・受給者 168人			〔今後の課題・方向性など〕 生活の安定や、児童の健やかな成長のため、引き続き事業を実施していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	4 保育所費
事業名		私立保育園保育委託事業			
予算額		481,937,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		478,945,040 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 保護者の就労等により保育の必要性がある乳幼児の保育を私立認可保育所へ委託することにより、保育の量と質を確保することができた。 また、乳幼児の心身の健全育成を図った。 （聖ルカ乳児保育園・チューリップ保育園・やまなみ保育園・はましんわくわくステーション・バンビーナ） ・平均児童数 353人/月			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き事業を継続し、保育の量と質の確保に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	4 保育所費
事業名		私立認定こども園等教育・保育給付事業			
予算額		312,772,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		310,030,970 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 認定こども園聖ルカ幼稚園および認定こども園それのとりこども園の運営に必要な経費を負担することにより、同園を利用する子どもの教育・保育の量と質を確保することができた。 また、同園に対して、子育てに関する相談窓口の設置を委託し、育児不安の解消を図ることができた。 （認定こども園聖ルカ幼稚園、認定こども園それのとりこども園） ・平均児童数 265人/月 ・子育て支援拠点 （エンジェル広場、それのとり広場） 利用者数 延べ14人			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き事業を継続し、教育・保育の量と質の確保に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	4 保育所費
事業名		放課後児童健全育成事業			
予算額		93,002,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		85,579,222 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 児童クラブを設置し、昼間保護者のいない家庭等の小学校児童を保育し、健全育成の向上を図った。 （小浜・雲浜・西津・内外海・小浜美郷・今富・口名田・加斗） ・利用会員 326人			〔今後の課題・方向性など〕 ニーズ量に応じた適正な定員数の確保と児童がより健全に過ごせるための環境づくりに努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	4 保育所費
事業名		低年齢児保育充実促進事業			
予算額		14,595,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		10,296,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 低年齢児（0～2歳児）において、国の配置基準を超えて保育士を配置する私立保育園等に対して必要な経費を補助することで、事業者の負担軽減および保育の量と質を確保した。（聖ルカ乳児はいくえん、チューリップ保育園、やまなみ保育園、そらのとりこども園） ・対象保育士数員数 11人			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き事業を継続し、事業者の負担軽減を図ること で、保育の量と質を確保し、近年需要が高まっている低年齢児の保育受入体制を整える。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	5 心身障害児通園事業費
事業名		母と子の家施設運営管理経費			
予算額		5,658,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		5,472,273 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 平成29年から指定管理による運営を実施しており、民間経営による柔軟性を生かし、障がい児等福祉事業を包括的に展開している。また、保育士をはじめ作業療法士、理学療法士などの専門職を安定雇用することにより、質の高いきめ細やかなサービスを提供している。			〔今後の課題・方向性など〕 指定管理を継続し、柔軟な人材配置やサービス展開により、地域ニーズへの対応に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	5 心身障害児通園事業費
事業名		母と子の家施設整備事業			
予算額		7,113,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		550,000 円
決算額		7,094,700 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 施設を増築したことで、医療的ケアを必要とする児童への対応など、より充実したサービスを提供できる体制を整えることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 今後も必要に応じて整備を行っていく。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	5 心身障害児通園事業費
事業名		放課後等デイサービス支援事業			
予算額		20,247,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		19,926,358 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 放課後等デイサービス事業所の閉鎖や利用希望者の増加が進む中、多くの児童生徒がサービスを受けられるよう、市内事業所が定員を増やすことによって生じる運営経費を事業所に支援した。			〔今後の課題・方向性など〕 新たな事業所の誘致等を進めるとともにサービス提供事業者と連携し、受け皿不足解消に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	1 保健衛生総務費
事業名		公立小浜病院組合負担金			
予算額		806,669,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		806,668,580 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 公立小浜病院における各種医療サービスの提供および円滑な運営が図られた。 ①杉田玄白記念公立小浜病院運営経費関係市町負担金 246,240,000円 ②公立若狭高等看護学院運営経費関係市町負担金 29,712,000円 ③杉田玄白記念公立小浜病院建設改良等にかかる企業債元利償還金関係市町負担金 219,978,981円 ④杉田玄白記念公立小浜病院救命救急センター等運営経費関係市町負担金 310,737,599円			〔今後の課題・方向性など〕 小浜病院事業は、経営改善を進め、ある程度の効果が表れ始めたが、物価高、人件費上昇で経営環境は厳しい状況。介護老人保健施設事業は、収益力はあるもののコスト水準が高く、恒常的な赤字体質となっている。今後、小浜病院事業は、経営強化プランに基づき更なる経営強化に取り組むほか、介護老人保健施設事業は、事業のあり方について検討を進め、組合全体としての経営健全化に努めていく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費
事業名		わがまち健康づくり推進事業			
予算額		6,044,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		5,296,069 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 生活習慣病の予防、早期発見および早期治療を図るとともに、健康についての意識を高めるため、健康教育・健康相談等の事業を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 生活習慣病の発症を未然に防ぎ、健康で長生きするために、市民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくり事業を展開していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費
事業名		けんしん事業			
予算額		29,629,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		29,283,499 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 生活習慣病健診・がん検診を実施し、市民の健康の保持および疾病の早期発見を図った。 受診者数：後期高齢者基本健診908人 肺がん検診：1,584人 胃がん検診：308人 大腸がん検診：1,619人 子宮頸がん検診：967人 乳がん検診：770人			〔今後の課題・方向性など〕 けんしんの重要性を伝える分かりやすい受診勧奨等により、各種けんしんの受診率を向上させ、市民の健康の保持を図っていく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費
事業名		カムカム赤ちゃん応援事業			
予算額		3,360,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,513,605 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 不妊治療に取り組む夫婦に対して、治療の1回目から治療費や交通費等を支援し、経済的負担の軽減を図った。 助成件数：R6 実人数28人 延件数57件			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き事業を継続し、不妊治療に取り組む夫婦を支援していく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費
事業名		出産・子育て応援金交付事業			
予算額		21,423,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		18,524,559 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施した。 出産応援ギフト：187件 子育て応援ギフト：170件			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、妊婦・子育て家庭の伴走型相談支援、経済的支援に取り組み、安心して出産・子育てができる環境を充実させていく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費
事業名		母子保健事業			
予算額		34,057,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		26,977,319 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 妊娠・出産期から子育て期において切れ目なく、妊産婦および乳幼児健診をはじめとした各種事業を実施し、母子の健康の保持・増進を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、妊娠・出産から子育てのそれぞれの時期に切れ目なく、乳幼児健診をはじめとした各種事業を実施し、母子の健康の保持増進を図っていく。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費
事業名		予防接種事業			
予算額		122,371,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		101,133,518 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 感染のおそれがある疾病の発生等を予防するため、予防接種法に基づいて各種予防接種を実施した。 A類(小児)の予防接種：原則全額公費負担 B類(高齢者)の予防接種：一部公費負担			〔今後の課題・方向性など〕 国の制度改正に即し、迅速かつ的確に必要な予防接種を実施する。		

令和6年度

一般会計

民生部

子ども未来課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費
事業名		救急医療対策事業			
予算額		9,710,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		9,705,702 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 ①在宅当番医制事業（委託料） 小浜医師会に休日等の当番医を委託し、患者の受入体制（一次救急）を確保した。 ②病院群輪番制事業（負担金） 公立小浜病院において、休日や夜間等24時間体制で救急患者を受け入れる二次救急医療を確保した。			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、①、②両事業を実施し、地域住民の救急医療体制を確保する。		

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 環境衛生費
事業名		水・環境保全対策事業			
予算額		6,705,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		6,046,186 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市内河川（北川、南川等8測点）において、水質測定を行い、汚濁状況の把握および環境基準適合状況の評価を実施した。 市内の豊かな水環境をPRするため、四谷公園で自噴井戸の整備を行った。 脱炭素の取組を進めるため、住宅の敷地内に太陽光発電設備や蓄電池設備を設置した者に対し、設置費用の一部に補助金を交付した。			〔今後の課題・方向性など〕 市内河川の水質測定などを継続し、市内の水環境把握・評価に努める。 今後も国・県の補助金を活用し、太陽光発電設備や蓄電池設備の設置等、脱炭素の取組を継続する。		

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 環境衛生費
事業名		コウノトリの郷づくり事業			
予算額		4,043,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,243,178 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 国の特別天然記念物であるコウノトリの監視、足環装着、餌量調査等を実施するとともに、熊野区の水田ビオトープの栈橋が老朽化していたことから、修繕を行った。また、令和5年度策定した「小浜市コウノトリビジョン」の目標実現のための具体的な取組項目や目標数値等を定めた「小浜市コウノトリアクションプラン」を策定した。			〔今後の課題・方向性など〕 「小浜市コウノトリアクションプラン」で設定した取組項目を推進することで、コウノトリが生息できる自然環境の創出、環境にやさしい農業の推進と農地の保全、コウノトリと共生する人づくりと経済循環の創出に努めていく。		

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 火葬場費
事業名		若狭霊場施設管理運営費			
予算額		31,064,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		28,789,946 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 若狭霊場の適正な維持管理と効率的な運営に努めており、令和6年度からは民間活力の導入として、施設維持管理業務の全面民間委託を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 広域斎場の建設・稼働まで、定期的な修繕や補修工事を行い、安定した運営を継続する。		
〔客体数〕 ・小浜市 435体 ・おおい町 101体 ・その他 29体 合 計 565体					

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 ごみ処理費
事業名		ごみ収集委託事業			
予算額		159,541,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		158,979,517 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 収集委託業者2社との契約により、円滑なごみ収集事業に努めた。 〔収集量〕 ・ 燃やすごみ（週2回収集） 5,627t [令和5年度：6,028t] ・ 缶、ペットボトル、金物、有害、埋立（月2回収集）、ビン（月1回収集） 406t [令和5年度：419t]			〔今後の課題・方向性など〕 円滑な収集業務を継続し、公衆衛生の保持に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 ごみ処理費
事業名		廃棄物処理広域化推進事業			
予算額		267,044,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		267,044,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 若狭町以西の嶺南4市町による「若狭広域行政事務組合」を事業主体として、広域ごみ焼却施設および広域可燃ごみ中継施設の安定した運営に努めた。			〔今後の課題・方向性など〕 今後も、両施設が連携し、安全安心な施設運営に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 ごみ処理費
事業名		その他紙収集処分事業			
予算額		16,397,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		15,144,983 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 「その他紙」を資源ごみとして分別収集することにより、ごみの資源化に努めた。 〔収集量〕 ・その他紙 167t [令和5年度：182t]			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、他のごみの分別方法とともに、ごみの資源化、減量化について、市民への周知に努める。		

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	4 不燃物処理施設費
事業名		リサイクルプラザ施設管理経費、リサイクルプラザ運営管理委託事業			
予算額		182,171,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額 0 円	
決算額		173,272,784 円		次年度への繰越額 0 円	
〔成果〕 不燃ごみの適正処理とリサイクルの推進に取り組んだ。 また、最終処分場1号棟、2号棟の排気用換気装置6機の取替を行い、作業者の安全確保に努めた。 〔搬入量〕 ・収集（埋立て、有害、びん、ペットボトル） 316 t [令和5年度： 329t] ・持込み（焼却灰含む） 1,134 t [令和5年度：1,278t] 合 計 1,450 t [令和5年度：1,607t]			〔今後の課題・方向性など〕 施設の適正な維持管理に努め、安定した施設運営を継続する。		

令和6年度

一般会計

民生部

環境衛生課

款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	6 し尿処理費
事業名		衛生管理所施設運営費、衛生管理所運転管理業務委託事業			
予算額		87,298,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		81,032,742 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 し尿処理施設の適正な管理運営に努めた。 〔投入量〕 ・小浜市 5,001KL [令和5年度：5,013KL] ・若狭町 440KL [令和5年度：685KL] 合計 5,441KL [令和5年度：5,698KL]			〔今後の課題・方向性など〕 故障等により施設が停止することがないように、適切に 修繕や補修を行い、安定した運営を継続する。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	5 労働費	項	2 労働諸費	目	1 労働諸費																
事業名		若狭シルバー人材センター事業補助金																			
予算額		5,652,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円																
決算額		5,651,085 円	次年度への繰越額		0 円																
〔成果〕 高齢者が、長年培ってきた知識・経験を活かし、いきいきと活動できるよう、新規会員の確保や就業先の開拓、普及啓発活動等、シルバー人材センターの運営に対して支援を行った。 <table><tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>会員数</td><td>386人</td><td>414人</td><td>424人</td></tr><tr><td>総事業費</td><td>150,703千円</td><td>132,042千円</td><td>139,683千円</td></tr><tr><td>受託件数</td><td>3,059件</td><td>2,715件</td><td>2,852件</td></tr></table>				令和4年度	令和5年度	令和6年度	会員数	386人	414人	424人	総事業費	150,703千円	132,042千円	139,683千円	受託件数	3,059件	2,715件	2,852件	〔今後の課題・方向性など〕 近年、企業の再任用制度や定年延長が進み、比較的若いシルバー会員の確保が難しくなっている。 また、業務運営の効率化を図る上でも、会員数の確保や、事務局のデジタル環境等の整備が必要である。		
				令和4年度	令和5年度	令和6年度															
			会員数	386人	414人	424人															
			総事業費	150,703千円	132,042千円	139,683千円															
			受託件数	3,059件	2,715件	2,852件															

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	5 労働費	項	2 労働諸費	目	1 労働諸費
事業名	若狭シルバー人材センター企画事業補助金				
予算額	3,554,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額	3,553,382 円		次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 慢性的な人手不足が長期化する中、サービス業や介護等 人手不足分野への派遣により現役世代を支えるとともに、 高齢者の幅広い就業機会を確保した。			〔今後の課題・方向性など〕 企業の人手不足により、派遣実績が伸びてきている一 方で、会員の高齢化が進んでおり、会員が無理なく働け る仕事の確保・就業環境の整備が重要となっている。		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
総事業費	11,293千円	12,387千円	13,718千円		
派遣延人数	9,308人	13,541人	12,551人		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	5 労働費	項	2 労働諸費	目	1 労働諸費
事業名		労働金庫預託金			
予算額		50,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		50,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 労働者に対する一般融資の充実を図るため、資金を預託し、生活の安定を図った。 ・預託先：北陸労働金庫 ・貸付金：50,000千円 ・利率：普通預金利率 ・利用件数：121件			〔今後の課題・方向性など〕 貸付利率の変動に注視し、引き続き労働者の生活の安定を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	5 労働費	項	2 労働諸費	目	1 労働諸費
事業名		勤労者・就業者生活安定資金貸付金			
予算額		50,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		50,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 勤労者・就業者の生活安定のために必要な融資を充実し、市民生活の安定を図った。 ・預託先：北陸労働金庫（貸付金：30,000千円） 小浜信用金庫（貸付金：20,000千円） ・貸付利率：3年以内 2.1% 3年超7年以内 2.5% ・限度額：2,000千円 ・利用件数：北陸労働金庫 3件 小浜信用金庫 0件			〔今後の課題・方向性など〕 貸付利率の変動に注視し、引き続き勤労者・就業者の生活の安定を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	5 労働費	項	2 労働諸費	目	1 労働諸費
事業名		雇用推進対策事業			
予算額		1,493,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,482,971 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 就業相談等を行うミニジョブステーション小浜の開設や、嶺南6市町合同による大学生等を対象とした企業説明会の開催の他、嶺南の企業を掲載したウェブサイトを運営。また、小浜市雇用対策協議会において、高校生を対象とした企業とのマッチング機会を創出する等、地域雇用の安定と確保を図る取組に対して支援を行った。 ・ミニジョブステーション小浜 カウンセリング件数 32件 電話相談件数 88件 【大学生等企業説明会実行委員会】 ・ふるさとジョブフェアinふくい嶺南 参加企業数 97社 参加者62名 【小浜市雇用対策協議会】 ・OBAMAジョブフェス2024（若狭東高等学校） 参加者 102名（若狭東高校2年生） 参加企業 18社 ・地元高校生の進路希望調査 市内高校2年生 224名 ・はたちのつどい参加者アンケート はたちのつどい参加者 39名			〔今後の課題・方向性など〕 若者が地元で働きたいと思える環境の整備が課題であり、市内企業と学生とのマッチングに引き続き取り組むとともに、多様な人材が活躍できる職場環境づくりに対し支援を行い、地元就職率の向上を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	5 労働費	項	2 労働諸費	目	1 労働諸費
事業名		ふるさと就職人材育成支援事業			
予算額		1,550,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,417,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市内製造業、建設業、運輸・郵便業の事業所に就職した新規学卒者、U・Iターン者に対して奨励金（60,000円）を交付し、定住促進と企業の雇用の安定・確保を図った。また、新入社員を対象にセミナーを開催し、早期離職の防止に努めるとともに、企業向けに人材確保セミナーを開催し、採用力向上に取り組んだ。 ・ 令和6年度支払い実績：14名、840千円 （新規学卒者 9名、Uターン 4名、Iターン 7名） ・ 新規就労者セミナーおよび意見交換会 （令和6年7月30日開催、14名参加） ・ 人材確保セミナー （令和7年3月12日開催、19名（9社）参加） ・ 労働環境改善事業補助金（2社）60千円			〔今後の課題・方向性など〕 若者の県外流出や早期離職による人手不足は、生産性の低下や技術の継承等、地元の産業を支える企業に大きな影響を及ぼしている。 今後も奨励金の交付により人材確保に努めるとともに、企業向けの各種セミナーを開催する等、企業への雇用支援を行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
事業名		嶺南有害鳥獣処理施設運営費負担金			
予算額		8,559,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		7,376,901 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 嶺南地域有害鳥獣処理施設に搬入された有害鳥獣の総頭数は、6,902頭(184.5t)であり、このうち小浜市からは、1,450頭(36.7t)を搬入し、適正な処理を行った。また、施設の維持管理に係る修繕費（台車装置、点火機器、焼却炉側壁一部）の一部を負担した。			〔今後の課題・方向性など〕 適正な処理を行う搬入先を確保し、必要な修繕を行うことで有害鳥獣の捕獲が促進され、農作物等への被害抑制に繋がることから、今後も処理施設の運営費を負担していく。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
事業名		鳥獣被害対策実施隊活動支援事業			
予算額		2,195,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,017,545 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 「鳥獣による農林水産業などに係る被害防止のための特別処置法第9条」に基づく鳥獣害対策実施隊の活動により、農林産物の食害を抑止し、人的被害の未然防止が図られた。 (福井県猟友会小浜支部長1名、副支部長1名)			〔今後の課題・方向性など〕 農林産物や人への被害の抑制・防止を図るため、継続して鳥獣害対策実施隊の活動を支援する。併せて、地域一体となった合意の形成を図るため、住民に対して獣害被害対策の研修会等を開催し、普及啓発および意識の向上に取り組む。 また、実施隊および猟友会員の高齢化が進み、担い手不足が課題であるため、捕獲従事者の増加を目指し講習会を開催する。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
事業名		有害鳥獣侵入防止総合対策事業			
予算額		18,995,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		18,607,880 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 シカ・イノシシ対策用の金網柵等設置について、集落の要望をもとに原材料支給等を行った。その効果として有害鳥獣の生息域と農地を分離することで、農作物の被害を防ぎ、農業経営の安定が図られた。 【金網柵】 ・荒木区 支給延長L=1,550m ・神宮寺区 支給延長L= 975m ・太良庄区 支給延長L= 225m ・福谷区 支給延長L= 250m ・大谷区 支給延長L= 125m 【ワイヤーメッシュ柵】 ・堅海区 支給延長L= 460m ・黒駒、法海区 支給延長L= 300m ・若狭区 支給延長L= 500m 【電気柵】 ・神宮寺区 設置延長L=700m			〔今後の課題・方向性など〕 今後も、地域における金網柵等の整備に対し原材料等を支給し、住民主体の被害防止対策に努める。 また、既存の侵入防止柵については、地域との管理協定を締結し、住民による点検と維持管理を徹底していく。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
事業名		有害鳥獣駆除事業			
予算額		27,045,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		21,937,640 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 有害鳥獣による農林産物や人家への被害防止を図るため、猟友会による有害鳥獣駆除を実施した。 ・ニホンジカ 841頭 ・イノシシ 268頭 ・ニホンザル 138頭 ・その他中獣類(ハクビシン、ヌートリア、アライグマほか) 255頭			〔今後の課題・方向性など〕 今後も猟友会と協力し、適正な水準になるまで有害鳥獣の適切な駆除を実施し、農作物・人的被害の抑制・防止を図っていく。 高齢化による捕獲従事者の減少が見込まれるため、講習会等を行い担い手の育成・確保に努めていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
事業名		農地集積・集約化対策事業			
予算額		10,377,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		10,349,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地域全体で農業に取り組む体制を構築するため、農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域に対して協力金を交付し、農地集積・集約化を促進した。 ・農地中間管理事業による農地集積面積 757ha うち令和6年度農地集積面積 36ha			〔今後の課題・方向性など〕 集積未実施地域に対し、農地中間管理事業について理解を深めてもらうため、農業委員や推進委員とともに地域農業の将来像について話合う場を設け、集積・集約化を推進する。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
事業名		小浜市総合卸売市場運営対策事業			
予算額		1,230,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,230,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 老朽化した冷蔵設備の更新業務に対する支援により、市場流通圏内への安心・安全な流通が確保されるとともに、省エネ仕様の機器に更新することで動力費の削減が図られた。			〔今後の課題・方向性など〕 市場流通圏内以外からの流通の確保や仕入れのロスを抑えることにより、収益を増やしていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費
事業名		環境保全型農業直接支払事業			
予算額		3,278,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,890,176 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 環境保全型農業に取り組む農業者に対する支援により、環境保全に効果の高い営農活動の普及推進が図られた。 ・取組実績 IPM(総合的病虫害・雑草管理)+ 農薬不使用栽培(そば) 3.91ha 有機農業(水稻) 3.90ha 冬期湛水管理(畦、有) 3.11ha 冬期湛水管理(畦) 8.29ha IPM(総合的病虫害・雑草管理)+ 畦畔除草+秋耕 33.21ha 秋耕 21.25ha			〔今後の課題・方向性など〕 環境保全型農業は、より持続可能な農業である一方で手間や労力がかかるとともに、慣行農法と異なり指導者や実践者が少ないことから、コストに見合った価格形成の仕組みづくりや、指導体制の確立と仲間づくりが必要となっている。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 農地費
事業名		県単小規模土地改良事業			
予算額		14,100,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		14,100,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地域農業者の水利等に関する諸条件の整備を実施することにより、農業生産性の向上を図ることができた。また、市所有施設を適正管理することで災害防止に寄与できた。 ・阿納尻農業用水路更新その2工事 ・鴨ヶ淵排水機場建屋補修工事 ・上中井農業用排水路管理道整備工事 ・神宮寺農業用水路更新工事 ・奈胡パイプライン更新工事 ・府中揚水機場封水ポンプユニット整備工事			〔今後の課題・方向性など〕 地域において適正な営農活動を実践するため、必要に応じて、各土地改良団体の所有する農業用施設の修繕・更新などを進めて行く必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 農地費
事業名		農業用ため池廃止事業			
予算額		9,900,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		9,900,000 円
決算額		9,900,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 農業用水利施設としての利用がなくなった防災重点農業用ため池を廃止することで、地域の災害防止に寄与できました。 ・堀の谷川ため池廃止工事			〔今後の課題・方向性など〕 農業用水利機能を持たなくなった防災重点農業用ため池について、地域と協議しながら廃止を進めて行く必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 農地費
事業名		田んぼダム利活用促進事業			
予算額		12,320,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		12,320,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 水田が持つ雨水貯留機能を高めることにより、大雨災害時の下流域における浸水被害リスク低減を図ることができた。 ・松永地区畦畔強化工事 ・宮川地区畦畔強化工事			〔今後の課題・方向性など〕 流域治水の取組として有効な田んぼダムについて、地域と協議しながら普及に向け取り組んでいく必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 農地費
事業名		経営体育成基盤整備事業			
予算額		8,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 今後予定されている土地改良事業の事業採択申請に必要な実施計画書を作成し、事業の計画的な実施に寄与できた。 ・事業実施計画策定			〔今後の課題・方向性など〕 県の事業進捗に応じて、計画的に予算を確保する。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 農地費
事業名		多面的機能支払交付金事業			
予算額		92,754,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		92,751,969 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 農地、農業用施設の保安全管理を地域の共同活動で行うことにより、農村環境資源の質的向上と老朽化施設の補修・更新を図ることができた。 ・農地維持支払、資源向上支払 1組織 28集落 田：1,065ha 畑：16ha ・長寿命化対策 1組織 29集落 田：1,065ha 畑：16ha ※熊野集落は、国富環境保全組織（農地維持支払・資源向上支払）と熊野向上活動組織（長寿命化対策）に分かれて活動している。			〔今後の課題・方向性など〕 持続可能な地域活動を進めるため、地域住民への活動内容の周知と、農業者以外の積極的参加を継続して推進していく必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 農地費
事業名		農地耕作条件改善事業			
予算額		50,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		11,500,000 円
決算額		11,500,000 円	次年度への繰越額		39,000,000 円
〔成果〕 狭小農地の畦畔を除去することで、ほ場の大区画化を図り、地域の担い手の営農効率化に寄与できた。 ・野代ほ場整備工事実施設計業務 ・野代ほ場整備工事 A=4.96ha			〔今後の課題・方向性など〕 施工時期など地元との協議を綿密に行いながら、早期完成を目指し取り組む。		

令和6年度

一般会計

産業部

農政課

款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 農地費
事業名		農地中間管理機構関連農地整備事業			
予算額		29,085,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		6,936,000 円
決算額		20,518,000 円	次年度への繰越額		8,567,000 円
〔成果〕 生産基盤整備による農地の大区画化、汎用化を図ることができ、担い手の生産効率と農業所得の向上、ひいては地域農業の持続的な発展に寄与している。 ・飯盛地区 圃場整備、暗渠排水工、換地業務 ・宮川第2地区 圃場整備、測量設計、換地設計			〔今後の課題・方向性など〕 県の事業進捗に応じて、計画的に予算を確保する。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	1 林業総務費
事業名		森林環境譲与税基金積立金			
予算額		40,002,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		39,452,665 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い、本市に交付される森林環境譲与税を森林整備およびその促進に要する費用に充てるため、基金への積み立てを行った。			〔今後の課題・方向性など〕 基金を効果的かつ有効に活用するため、市民の意見を反映した事業を行うほか、広域的な効果を促すため、県や嶺南6市町、れいなん森林組合と連携し整備を進めていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
事業名		森林境界明確化推進事業			
予算額		4,050,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,050,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 森林境界の測量や確認作業に係る費用を支援することにより、森林の整備を円滑に進めることができた。また、今後実施する森林整備に必要な手間等が削減できた。 ・対象地域：阿納尻、上根来、谷及 90ha ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4			〔今後の課題・方向性など〕 森林経営管理制度の意向調査等と連携し、森林境界の明確化を推進していく。 また、今後、森林所有者の高齢化により、境界の判断が困難となることが予想されることから、れいなん森林組合と連携し事業の周知を行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
事業名		里山整備推進事業			
予算額		11,563,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		10,455,500 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 小規模間伐や林道等の路網整備、現況意向調査等により、健全な森林の再生などに繋がられた。 ・間伐 5.77ha ・ネット巻き 1,929枚 ・路面整備 1,500m ・その他 暗渠、木製横断排水整備、金網柵整備 等			〔今後の課題・方向性など〕 今後、施設の老朽化等により、修繕や整備等の費用増加が見込まれることから、地域と連携し適正な森林管理を行っていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
事業名		里山ふれあい空間創出事業			
予算額		2,796,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,465,440 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市民の森あおいおよび宮川内外海生活環境保全林の整備等を行い、安全かつ良好な森林環境形成を図った。 また、地域住民による生活林の環境整備に対する補助を行い、市民が緑に親しむ場所や機会を提供した。			〔今後の課題・方向性など〕 老朽化する施設に対する整備や倒木等の処理を適切に行うとともに、市民が主体となって行う維持管理や整備に対し補助することで、利用者の安全確保を図るとともに森林への理解を深め、林業振興に寄与する。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費
事業名		木材流通効率化支援事業			
予算額		5,530,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		5,530,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市内で生産される間伐材のうち、材質の低い木材（B材、C材）の搬出等にかかる経費を支援することで、流通の効率化とコストの低減により未利用間伐材の搬出・利用促進を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 間伐材のうち、材質の低い木材等は価格帯が低いため採算が合わず、多くが山林内に残置される。引き続き経費等を支援することにより、搬出と利用の促進を図ることができる。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	3 造林費
事業名		市行造林保育事業			
予算額		5,163,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,126,157 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市行造林地の適切な保育事業を実施したことにより、森林環境の保全が図られた。 間伐 下根来 3.00ha			〔今後の課題・方向性など〕 森林環境の保全を図るため、市内11ヵ所、総面積287.87haの森林に対し、地権者と分収造林契約を締結しており、契約に基づき市が管理を行う必要がある。 今後、市行造林地を人工林から天然林に転換していくために地元との協議を進めていくことが課題である。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	4 林道費
事業名		県単林道改良事業			
予算額		8,210,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,700,000 円	次年度への繰越額		6,510,000 円
〔成果〕 福井県において、広域林道若狭遠敷線の整備工事が進められている。その工事で支障となる水道管の移設に伴う設計業務（橋梁添架）の委託契約を行った。業務については令和7年度に繰越。			〔今後の課題・方向性など〕 ※R6新規 関係機関（福井県土木部）との協議も順調に進み、水道管移設に向け、着実に準備が進んでいる。 福井県事業の進捗に遅れが生じないよう、しっかり調整し、引き続き事業に取り組んでいく。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	4 林道費
事業名		橋梁長寿命化修繕事業			
予算額		10,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		10,500,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 平成13年に施行された「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適切な処理の推進に関する特別措置法」に基づき、PCB塗膜を含有する林道橋梁の塗膜塗替工事および特別産業廃棄物処理を行った。 ・塗装塗替工事 1橋（大滝線）			〔今後の課題・方向性など〕 ※R6事業完了 PCB塗膜を含有する林道橋1橋について塗装工事を実施した。 今後は、個別施設計画に基づき、橋梁の長寿命化対策（補修）を実施していく。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	2 水産業振興費
事業名		小規模漁場保全事業			
予算額		4,600,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,600,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 若狭湾における若狭かれい等が生息する海域の海底耕耘を実施し、生育環境の改善を図った。 ・海底耕耘面積 若狭湾 A=370ha			〔今後の課題・方向性など〕 生育環境の改善を図るためには、継続した事業の実施が必要であるが、事業を施行する漁業者の人員不足が懸念されている。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	2 水産業振興費
事業名		沿岸漁業生産拡大推進事業補助金			
予算額		1,172,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,172,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 小浜湾内の一定海域において、海底耕耘、海底清掃を実施し、水産資源が生息する漁場環境の改善を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 漁場環境の改善を図るためには、継続した事業の実施が必要であるが、近年、県補助額が要望額よりも減額されているため、計画の進捗に影響が出ている。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	2 水産業振興費
事業名		沿岸漁業漁村振興構造改善事業			
予算額		2,753,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		2,753,000 円
決算額		2,753,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 生食用養殖かき等の殺菌・冷海水循環設備整備にかかる経費の補助を行った。 ・対象事業費 27,530,000円 (補助率 国50%、県20%、小浜市・おおい町各10%)			〔今後の課題・方向性など〕 殺菌・冷海水循環設備が改修整備されたことにより、生食用養殖カキの生産拡大を図っていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	2 水産業振興費
事業名		『sea×person』体制構築モデル事業			
予算額		1,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,500,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 ブランド養殖魚等の養殖事業者の事業拡大を行う際の経費等の一部を補助することで、新規就業者の確保に繋がられた。 1団体の補助上限 1,500千円/年間			〔今後の課題・方向性など〕 ブランド養殖魚の増産と新規雇用に繋がっており、今後も引き続き、知名度の向上や生産拡大を図っていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	2 水産業振興費
事業名		「鯖、復活」養殖技術開発事業			
予算額		5,881,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		5,789,820 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 「福井県水産学術産業拠点」において、福井県・福井県立大学・民間事業者と連携し、人工種苗の成長促進技術開発研究に取り組んだ。			〔今後の課題・方向性など〕 養殖技術の研究・開発結果を現場実装し、完全養殖の実現に繋げる取組が必要である。		

令和6年度

一般会計

産業部

里山里海課

款	6 農林水産業費	項	3 水産業費	目	3 漁港建設費
事業名		水産基盤ストックマネジメント事業			
予算額		58,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		58,500,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 漁港施設の老朽化による機能低下を防止し、健全化を図るため、保全計画に基づき、漁港施設の設計委託業務ならびに更新工事を実施した。 ・ 内外海漁港 堅海棧橋測量調査設計 1 式 ・ // 泊棧橋更新工事 L=40.4m			〔今後の課題・方向性など〕 今後も、老朽化している施設を速やかに更新し、機能低下防止と健全化を図っていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		企業誘致戦略策定事業			
予算額		5,663,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		5,577,000 円
決算額		5,323,780 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 「企業誘致戦略」を策定するにあたり、有識者からなる検討委員会を開催するとともに、将来に向けた誘致の方向性やターゲット企業の明確化をするためのアンケート調査を実施し、同戦略を令和6年11月に策定した。			〔今後の課題・方向性など〕 企業誘致戦略に基づく、重点エリアへの特色ある産業の集積を図るとともに、令和10年度に分譲開始を目指している県営産業団地への新たな企業誘致や地元企業の事業拡大用地として誘致を進める等、新たな企業と地場産業との融合を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		小浜商工会議所事業補助金			
予算額		2,300,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,300,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 商工業全体の振興を目指し、地域経済の維持・発展に寄与する小浜商工会議所に対し支援を行った。 ・北陸新幹線機運醸成・各種セミナー ・会議所だより発行 ・部会運営費等			〔今後の課題・方向性など〕 地域経済の維持・発展に向けた基盤整備および地場産業の振興に向け、引き続き小浜商工会議所と連携し必要な支援を行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		小浜市企業振興助成金			
予算額		21,363,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		21,363,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市内で工場を増設した企業に対し、必要な助成措置を講ずることにより、事業者の育成と雇用機会の拡大を図った。 ・ 芝浦自販機株式会社（新規雇用人数：5人） 21,363,000円			〔今後の課題・方向性など〕 「小浜市企業誘致戦略」に基づき、対象業種の追加や投資規模・雇用要件に加え、U・Iターン者に対する支援等の見直しを行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		新型コロナウイルス感染症特別利子補給金			
予算額		3,086,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,085,572 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 新型コロナウイルス感染症の影響により、福井県経営安定資金の融資を受けた中小企業に対し、利子補給を行うことにより、多くの事業者の経営安定に寄与した。			〔今後の課題・方向性など〕 令和6年度で事業終了。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		店舗魅力アップ・販売力向上事業			
予算額		2,970,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,710,512 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 店舗内の商品・サービスの魅せ方等、店舗の魅力向上に取り組む事業者に対し、専門家派遣による店舗診断と改善に要する経費の一部を支援した。 ・店舗演出・空間のつくり方にかかるセミナー33名 ・専門家による店舗診断10事業所 ・店舗魅力アップ・販売力向上費用の支援10件			〔今後の課題・方向性など〕 令和6年度で事業終了。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		企業誘致戦略推進事業			
予算額		1,423,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		794,827 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 福井県主催の「福井県企業立地・港セミナー i n 東京」への参加等企業誘致活動を実施した。 ・旅費、ノベルティグッズ、パンフレット増刷等			〔今後の課題・方向性など〕 令和10年度分譲開始予定の県営産業団地の整備を見据え、「小浜市企業誘致戦略」に基づいた誘致活動に取り組む。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		商工業振興対策事業補助金			
予算額		4,893,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,893,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市内事業者を対象に、価格転嫁や販路開拓に繋がるセミナー開催の他、各種イベントに対して支援を行うことで、市内事業者の収益力の向上や人材育成を図るとともに、まちなかの賑わい創出に貢献した。 ・価格転嫁、販路開拓等専門家講師派遣 5社他 ・ChatGPTセミナー、商品開発、販路開拓セミナー他 ・スーパーマーケットトレードショー出展6社 ・夜の市、年末大売出し、はまかぜプラザ運営費他			〔今後の課題・方向性など〕 市内事業者の新商品開発や販路開拓、価格転嫁に加え、DXを取り入れた生産性・収益力の向上に繋がる取組を加速させるため、引き続き小浜商工会議所と連携しながら必要な支援を行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		おばま創業促進事業			
予算額		5,346,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		5,125,134 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市内の創業に対し、創業エリアやU・Iターンの属性、空き家、空き店舗の活用等、創業者のニーズに応じ支援を行った。 ・実績10件 （うち特定エリア・UIターン・空き店舗 4件）			〔今後の課題・方向性など〕 「まち歩きエリア」を設定し、空き家・空き店舗の活用やU・Iターンの促進の他、特に若者・女性の創業を重点的に支援することにより、店舗の集積を図り、まちなかの賑わい創出、商工業の振興を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		中小企業振興資金貸付金			
予算額		70,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		70,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 中小企業の経営安定を図るため、預託事業を通じて支援を行った。 ・ 預 託 先：福井銀行（貸付金：10,000千円） 福邦銀行（貸付金：10,000千円） 小浜信金（貸付金：50,000千円） ・ 貸付利率：県信用保証協会の保証あり 1.85% 保証なし 2.25% ・ 限 度 額：1事業所1件10,000千円 ・ 利用件数：福井銀行 0件 福邦銀行 0件 小浜信金 14件			〔今後の課題・方向性など〕 市内金融機関（福井、福邦、信金）から構成される金融懇談会を開催し、制度内容や預託額、貸付利率の協議を行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

商工振興課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工業振興費
事業名		企業用地管理事業			
予算額		35,495,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		35,173,930 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 企業用地にかかる土地賃借料および維持管理経費等 ・ニデックテクノモータ用地費他 23,231,890円 ・泉ケミカル、kenes他用地費 9,692,040円 ・ツバキベジムーブ（旧木田屋商店）用地費 2,250,000円			〔今後の課題・方向性など〕 誘致企業の安定操業を図ることで、雇用の維持・拡大や地場産業の活性化に繋げる。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		日本遺産推進事業			
予算額		3,169,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,163,452 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 協議会負担金や拠点施設運営補助等を通じて、日本遺産関連の取組を支援したほか、福井県が事務局を務める北前船寄港地フォーラム実行委員会に参画するとともに、本市にてエクスカッション等を開催し、北前船寄港地として本市のもつ歴史文化の魅力を地域内外に発信した。			〔今後の課題・方向性など〕 歴史的建造物等における特別な体験、食・祭に関する体験の提供など、日本遺産ストーリーを体感することのできる滞在コンテンツのさらなる充実を図り、誘客を促進するとともに、構成文化財等を舞台とした文化観光プレイヤー育成・継続した普及啓発活動を行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		観光おもてなし推進事業			
予算額		6,323,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		2,481,000 円
決算額		5,939,320 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 マーメイドフォトコンテスト開催や販促物の配布をとおして、観光客へ本市の特色ある地域資源を魅力発信するとともに、観光列車はなあかりをお出迎えするなどおもてなし環境を整備し満足度の向上を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 すでに本市にある魅力的な地域資源を観光客へ発信するとともに、訪れた観光客の満足度が向上するようなおもてなしの充実を図っていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		八ヶ寺周遊観光推進事業			
予算額		2,668,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,662,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 特典付き共通拝観券を発行し、八ヶ寺周遊キャンペーンを実施。YouTube動画での魅力発信、メディアへの宣伝活動を行った結果、関東方面の若年層を含む幅広い層への認知度を高め、拝観者増に繋がった。			〔今後の課題・方向性など〕 猛暑により紅葉のシーズンにキャンペーンを合わせることができなかったことから、開催期間については改善が必要。これをきっかけに観光協会、持宝会が連携し独自で継続したPRを行うことで誘客を図りたい。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		小浜西組の面的な開発・高付加価値化プロジェクト			
予算額		4,994,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,994,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 小浜西組の町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりを推進するための基礎的調査を実施した。 調査項目：候補物件の調査、概算事業費の算出、事業収支計画の策定 など			〔今後の課題・方向性など〕 調査の結果、プロジェクトの実現可能性が見込まれるとされたところであるが、今後、蓬嶋楼の耐震調査、ダイニングとして活用できる建物の追加調査等が必要な状況である。総事業費を精査し、事業採算性を確認した上で、プロジェクトを前に進めていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		(一社) 若狭おばま観光協会基盤強化事業補助金			
予算額		9,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		9,500,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 若狭おばま観光協会が取り組む観光誘客事業の運営を支援し、小浜における観光おもてなしの受入基盤強化に繋がった。			〔今後の課題・方向性など〕 小浜に訪れる観光客への観光案内をはじめ、出向宣伝や商談会を通じ、日本遺産のストーリーを軸とした地域の魅力を継続的に発信することで観光交流人口の増加に繋げていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		小浜の観光素材宣伝強化事業			
予算額		4,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,993,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 全国各地で開催される出向宣伝イベントに参加し、小浜の観光素材を県内外に広くPRするとともに、商談会等に参加し旅行会社に対して、観光コンテンツの情報提供を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、観光素材を県内外に広くPRするにあたり、小浜だけで無く、嶺南地域一体となった観光情報の発信についても強化を図っていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		観光「目的地化」魅力発信事業			
予算額		3,944,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,932,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 北陸新幹線敦賀開業に向け、小浜が観光の目的地になることを目指し、都市部におけるプロモーションやマーケティングに取り組んだ。 また、京都の料理人などと連携したプロジェクトにおいて小浜の食材についての情報発信を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、小浜が観光の目的地となる素材やコンテンツの魅力向上を図っていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		インバウンド文化観光販路開拓事業			
予算額		2,844,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,840,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 鯖街道ロングストーリー造成事業で得られた成果を市内事業者へ波及・定着させるとともに、本市の自然・歴史・食文化体験コンテンツの魅力を理解する外国人向け旅行会社を増やし、富裕層を中心としたインバウンドツアーのさらなる造成に繋げた。			〔今後の課題・方向性など〕 R5-6に造成した富裕層ツアーに送客が始まり海外旅行会社に本市が認知され始めた。この機を捉え、R7はロングステイツアーをさらに造成し誘客に繋げる。富裕層の間で良い旅行先としての認知が広がることで、一般層を含めたインバウンド誘客に繋がり、地域経済への波及効果が期待される。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		地域観光の魅力発信力強化事業			
予算額		3,622,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,619,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 日本遺産をはじめとした小浜市の歴史・文化にストーリー性を持たせて魅力を発信するとともに地元ライターによる記事制作を行い、地域観光の魅力を効果的に発信した。			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き地元ライターによる記事制作を通じて、地域住民の誇りや郷土愛の醸成に繋がるような魅力ある情報発信を行う。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		観光情報発信力強化事業補助金			
予算額		4,630,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,630,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 （一社）若狭おばま観光協会が運営するホームページをリニューアルし、記事投稿の充実や情報コンテンツの強化が図られたことで、リニューアル後における閲覧数や滞在時間が増加した。			〔今後の課題・方向性など〕 ホームページに掲載されるページについて、SEO対策を強化し、観光情報発信力を強化するほか、デジタル観光統計オープンデータの収集分析を行い、還元することで地域の稼ぐ力の向上を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		小浜の体験観光スタートアップ支援事業補助金			
予算額		389,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		388,594 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 小浜でしか体験できない食・文化・歴史ふれる観光プランの造成や小浜の発酵食文化を学ぶワークショップをはじめなど小浜の魅力や地域資源を生かした観光コンテンツを造成した。			〔今後の課題・方向性など〕 体験観光事業を新規ではじめる事業者があり次第、補正予算で対応していく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		蘇洞門めぐり遊覧船安全設備導入事業補助金			
予算額		699,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		699,000 円
決算額		699,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 観光客等の安全安心を確保するため、蘇洞門めぐり遊覧船の安全設備導入にかかる経費の一部を補助した。 ・改良型救命いかだ等（膨張式救命浮器） ・非常用位置等発信装置（簡易型AIS）			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き蘇洞門めぐり遊覧船の安全航行のためのサポートを継続する。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名	「御食国まち歩きマルシェ」創業・観光誘客促進事業				
予算額	2,500,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額	2,500,000 円		次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 小浜西組エリアにおいて、空き家を活用した創業と観光誘客を促進するため「御食国まち歩きマルシェ」を開催合計85店舗が出店、約4000人の来場があった。			〔今後の課題・方向性など〕 市からの補助金は令和6年度で終了となるが、7年度についても事業継続の見込み。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		食観光地域活性化推進事業			
予算額		3,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 着地型モニターツアーを実施。発信力のある食のプロにSNSでの発信、各素材に対しアドバイスもらった。その後モニターツアーに組み込まれていたコンテンツから実際にツアー造成に繋がった。			〔今後の課題・方向性など〕 継続して小浜の食の魅力、小浜に来ないとできない体験を発信し、誘客に繋げていきたい。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費
事業名		2024「嶺南誘客キャンペーン」開催事業			
予算額		5,417,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		5,417,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 嶺南誘客キャンペーン「青々吉日」と銘打ち、北陸新幹線敦賀開業に合わせて首都圏を中心とした観光プロモーションを展開し、積極的な誘客を図った。 (負担金については嶺南6市町一律)			〔今後の課題・方向性など〕 嶺南地域の市町が連携して特色のある「嶺南誘客キャンペーン」を継続的に展開し、嶺南地域の魅力を全国発信することで、嶺南地域への宿泊客やリピーター客の増加に繋げていく。		

令和6年度

一般会計

企画部

食のまちづくり課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 食のまちづくり推進費
事業名		御食国 食の学校			
予算額		31,391,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		21,293,960 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 食関連産業の担い手の確保・育成のため、新規に地域おこし協力隊2名を受け入れ、合計4名の育成を行った。募集にあたっては、HPや募集サイト等での情報発信や募集イベントへの出展、オンラインでの面談を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 料理人2名、観光1名、漁業1名に加え、新たに観光分野1名、ブランドデザイン分野1名の募集を行う。引き続き、募集サイトへの掲載や募集イベントへの出展、オンライン面談を行い、食関連産業の担い手育成を図る。		

令和6年度

一般会計

企画部

食のまちづくり課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 食のまちづくり推進費
事業名		生涯食育推進事業			
予算額		1,726,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,436,300 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 第4次小浜市食育推進計画に基づき、幼児の料理教室「キッズ・キッチン」を中心とした食育事業を実施。市内外への食育の浸透を図るとともに、拡大編参加者および食のまちづくり視察者より負担費を徴収し、財源の確保に努めた。			〔今後の課題・方向性など〕 第4次小浜市食育推進計画では、推進事項に関連する数値目標に加え、市民一人一人のウェルビーイングを把握する指標も設定しており、客観的かつ主観的な効果測定を継続して実施する。		

令和6年度

一般会計

企画部

食のまちづくり課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 食のまちづくり推進費
事業名		大人の食育－食の体験を活かしたウェルビーイング向上事業－			
予算額		1,800,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,736,190 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 都市部企業からの参加者10名、地元事業者5名、市役所職員6名の合計21名が参加し、多様な食の体験やワークショップ、交流など、密度の濃い時間を過ごした。 その結果、参加者全員のウェルビーイング向上とともに、地域外からの参加者については、小浜市再訪問や、まちづくりに関するワークショップの開催など、本市との良好な関係が続いている。			〔今後の課題・方向性など〕 本事業が自走できるよう、今後の実施方法を検討する必要がある。		

令和6年度

一般会計

企画部

食のまちづくり課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 食のまちづくり推進費
事業名		食のまちづくり推進事業			
予算額		272,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		195,300 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 令和6年度は合計3名を新たに御食国大使に任命。うち1名は腸内細菌叢研究の第一人者である医大教授であり、市の健康増進への寄与が期待できるとともに、2名は若狭高校生による高校生大使であり、若い世代への魅力発信に努めた。			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、御食国大使の方々に協力いただき、小浜市の食や食文化の魅力を広く発信する。また、地産地消をすすめる店認定制度を活用し、観光交流人口増加や地域内経済循環に努め、産業振興を図る。		

令和6年度

一般会計

企画部

食のまちづくり課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 食のまちづくり推進費
事業名		海の駅にぎわい創出事業			
予算額		1,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		972,273 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 川崎地区内事業者の協力により、食にまつわる施設の見学や体験を行うまち歩きイベント「食場体見ツアー」を年4回、地域内での買い物を通じたスタンプラリー「川崎海の駅ポータル」を年2回開催し、川崎地区の賑わい創出に努めた。			〔今後の課題・方向性など〕 川崎地区の店舗を幅広く利用してもらうと同時に、複数回訪れてもらえるような企画を実施する。昨年度実施し好評を得た「食場体見ツアー」を引き続き実施し、イベントの定着を図るとともに、他事業とも連携し、地域一体となったにぎわいの創出を目指す。		

令和6年度

一般会計

企画部

食のまちづくり課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	7 食文化館費
事業名		食文化館管理運営事業			
予算額		113,239,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		102,203,179 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 食文化館、濱の湯、濱の四季について、施設・設備修繕や各種維持・保守委託業務、光熱水費、会計年度任用職員の雇用など、館および関連施設の適切な維持管理に努めた。なお、指定管理者制度を導入している濱の湯・濱の四季は、指定管理期間の最終年を迎えたため、新たに指定を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 食文化館および関連施設は、開館から20年が経過し、経年劣化による施設や機器の不具合などが頻繁に見られる。市の個別施設計画等に基づき、計画的かつ可能な限り早急に修繕などの対応に取り組み、施設の長寿命化を図る必要がある。		

令和6年度

一般会計

企画部

食のまちづくり課

款	7 商工費	項	1 商工費	目	7 食文化館費
事業名		食文化館整備基金積立金			
予算額		6,004,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		6,003,537 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 将来的な食文化館の大規模施設整備を目的として、指定管理者（濱の湯〔イワシタ物産〕・濱の四季〔まちづくり小浜〕）からの納付金の2/3を基金積立金に充当している。			〔今後の課題・方向性など〕 食文化館管理運営事業における施設の長寿命化や大規模施設整備に備え、資金計画を立てていくことが必要である。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	1 土木管理費	目	1 土木総務費
事業名		海岸漂着物対策事業			
予算額		3,124,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,124,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 勢浜海岸の環境対策として、漂着した海洋ごみ（流木・木くず・混合廃棄物等約39m³）を収集し、分別、処分を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 県の内示時期により、漂着物の撤去時期が左右される。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路維持費
事業名		道路維持管理経費			
予算額		109,918,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		10,000,000 円
決算額		105,939,963 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市道西街道線などの市内各市道の舗装修繕および道路維持修繕・除草等を実施し、地域の生活環境の改善を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 全ての要望等に対応するためには、持続的な予算の確保が課題となる。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
事業名		道路整備事業（辺地）			
予算額		20,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		20,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市道宇久線、加尾西小川線は宇久区、加尾区および西小川区の唯一の道路である。市道宇久線の狭小部の道路拡幅工事を実施し、道路の機能強化を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 唯一の生活道路であることから、狭小・危険箇所の把握と継続的な対策が必要となる。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
事業名		道路整備事業（単独）			
予算額		36,503,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		1,243,000 円
決算額		33,669,509 円	次年度への繰越額		2,610,000 円
〔成果〕 川添線他4路線の道路改良工事を実施した。また、改良で支障となる電柱の移設、国庫補助事業の事業進捗を図るための用地の分筆登記などを実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 全ての要望等に対応するためには、持続的な予算の確保が課題となる。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
事業名		若狭湾サイクリングルート整備事業			
予算額		4,532,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,530,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 若狭湾サイクリングルートのナショナルサイクルルート指定に向け、市道西街道線などにおいて矢羽根の路面標示や案内看板の設置工事を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 今後も引き続き、サイクリスト等に対して安全・安心なサイクルルートを提供するとともに、施設の適正な維持管理に努める。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
事業名		緊急時避難円滑化事業			
予算額		21,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		3,500,000 円
決算額		21,500,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市道宇久線は唯一の避難経路であり、安全な避難路となるよう法面对策工事を実施した。市道阿納尻西小川線の整備は、避難道路の多重化を目的とし、測量調査設計を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 県内示が厳しくなっていく中、事業進捗への影響が懸念される。計画的な事業進捗にあたり、限られた予算の範囲において、効果的な計画が必要である。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
事業名		社会資本整備（安全安心）			
予算額		244,836,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		31,759,000 円
決算額		215,126,000 円	次年度への繰越額		29,705,000 円
〔成果〕 市道太良線等の道路改良を実施するなど、幹線道路の整備・拡幅や嵩上げにより、水害時等における安全通行の確保を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 国庫内示が厳しくなっていく中、事業進捗への影響が懸念される。計画的な事業進捗にあたり、限られた予算の範囲において、効果的な計画が必要である。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	3 道路新設改良費
事業名		社会資本整備（狭あい）			
予算額		12,294,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額	2,294,000 円	
決算額		11,823,880 円	次年度への繰越額	0 円	
〔成果〕 幅員4.0m未満の道路を拡幅することにより、安全な住宅市街地を形成するとともに、住宅環境等生活水準の向上を図るため、荒木7号線の拡幅工事を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 集落内の幅員4.0m未満の道路において、要望などを考慮し事業計画を作成する。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	4 橋梁維持費
事業名		道路メンテナンス事業			
予算額		167,436,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		26,053,000 円
決算額		116,303,000 円	次年度への繰越額		51,129,000 円
〔成果〕 市道下加斗線川戸橋他の橋梁修繕工事および修繕設計等を行った。また、橋梁114橋の法定点検を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 適正な施設管理を維持するため、法定点検を踏まえた施設修繕が増えることから、継続的な予算確保が必要である。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	6 除雪対策費
事業名		除雪対策費			
予算額		80,062,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		70,600,852 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 除雪路線約267km（車道・歩道）の降雪に対する除雪体制を整え、冬期間の交通の確保と通行の安全を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 除雪作業を行う事業者、特にオペレーター（後継者）の確保が必要である。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	6 除雪対策費
事業名		道路除排雪機械整備費補助事業			
予算額		4,521,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,521,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 除雪業者に除雪車2台の購入補助と市内1地区に小型除雪機購入費の補助を行い、冬機関の交通の確保と通行の安全を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 速やかに除雪を行う為にも除雪車の確保や地区の協力が必要であることから、継続的な予算確保が必要である。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	7 交通安全施設費
事業名		交通安全施設整備事業			
予算額		8,963,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,736,799 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市内各所におけるカーブミラーや区画線、防護柵設置工事を実施した。 通学路交通安全プログラムにおける要対策箇所について、グリーンベルト等の設置を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 カーブミラーや道路照明などの道路付属物の経年劣化が見られるため、健全性の低いものから更新を行う必要があり、計画的な予算確保が必要。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	3 河川費	目	1 河川総務費
事業名		河川維持事業（単独）			
予算額		36,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		36,205,900 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 下中井川他16河川の河川維持および浚渫工事を実施し、治水安全度の向上を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 全ての要望等に対応するためには、持続的な予算の確保が課題となる。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	3 河川費	目	1 河川総務費
事業名		社会資本整備（砂防）			
予算額		2,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		2,000,000 円
決算額		1,276,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 県により事業化された砂防河川奥鍋谷川および岸の谷川の砂防指定地の申請および申請に向けた資料整理を実施し、県営事業の整備が推進される。			〔今後の課題・方向性など〕 県によって事業化された岩神川および、県の進捗にあわせて岸の谷川支線および奥鍋谷川（奈胡坂川）の事業の進捗を図るために、砂防指定地申請に向け、県と連携強化を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	3 河川費	目	1 河川総務費
事業名		雨水貯留施設整備事業			
予算額		5,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,994,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市営駐車場跡地（生守地先）において、公園機能を兼ね備えた雨水貯留施設を整備することで、2級河川森川への急激な雨水流出を抑制し、当該地域の浸水被害を低減させる。			〔今後の課題・方向性など〕 地元との調整を行い、令和7年度中の整備完了を目指し工事を進める。 また、施設完了後における遊具等の設置について、当該施設の利用状況を踏まえ今富地区と検討する必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 街路事業費
事業名		社会資本整備（街路：小浜縦貫線）			
予算額		297,837,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		137,063,000 円
決算額		161,724,665 円	次年度への繰越額		136,109,000 円
〔成果〕 中心市街地の道路ネットワーク・交通の円滑化を図るとともに、市内周遊や安全性、都市防災機能向上のため、小浜縦貫線事業用地の用地売買契約や物件補償契約などを行った。			〔今後の課題・方向性など〕 計画的な事業推進にあたっては、地元関係者や事業者等との協議が重要であることから、引き続き電力事業者や警察、県などとの連携強化を図る。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	8 高速道路対策費
事業名		ストックヤード整備事業			
予算額		40,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		10,773,000 円	次年度への繰越額		29,227,000 円
〔成果〕 舞鶴若狭自動車道4車線化工事で発生する土の受入先として、太良庄・相生地係において、測量調査設計を実施し受入れの可能性、受入れ土量の検討を行い、発生土の受入に係る検討を開始した。			〔今後の課題・方向性など〕 設計業務を進めるとともに、今後、地元との調整を行い発生土受入れのための各種手続き（用地取得、農地転用、条例制定等）を進めていく。また、西日本高速道路(株)と発生土の搬入時期について、調整を行っていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費
事業名		公営住宅管理経費（臨時）			
予算額		20,749,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		8,150,000 円
決算額		19,895,140 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 後瀬団地4号棟ガス給湯器取替工事を実施。老朽化した給湯器を取替えることで施設設備の維持を行った。 また、入居者が退去した政策空家（東山手団地24～27号室、板屋町団地13・14号室、福谷第二団地3・4号室、城内第二団地25・26号室、鳥越団地・11・12号室）の解体を実施した。			〔今後の課題・方向性など〕 点検の強化および早期の修繕による予防保全的管理を促進することにより、居住性・安全性等の維持・向上を図り、長期的に活用させる。 また、入居者が退去した政策空家から順次解体することで、老朽化空家による問題を未然に防ぐ。		

令和6年度

一般会計

産業部

都市整備課

款	8 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費
事業名		社会資本整備（住宅ストック）			
予算額		8,805,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,124,200 円	次年度への繰越額		7,665,000 円
〔成果〕 後瀬団地5号棟階段等共有部分照明LED化工事を実施。 夜間における共有部分の視認性が向上し、転倒事故の防止に繋がる安全性の向上を図った。 「小浜市公営住宅等長寿命化計画」の改定業務について、民間事業者との協議のため翌年度に事業を繰越した。			〔今後の課題・方向性など〕 公営住宅ストックの効率的かつ円滑な更新、長寿命化を図るとともに、ライフサイクルコストの縮減を促進させる。		

令和6年度

一般会計

企画部

営繕管財課

款	8 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費
事業名		木造住宅耐震改修促進事業			
予算額		6,000,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		6,000,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 申請：1,500千円×4件 昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震改修工事への補助を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 診断・プラン作成は行われるものの、費用面から改修に至らないケースがあり、特に経済的負担が大きい高齢者世帯への支援が課題となっている。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		医療的ケア看護職員配置事業			
予算額		844,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		663,965 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 医療行為を必要とする障がい有する児童生徒（医療的ケア児）が在籍する学校に看護師を派遣し、当該児へ必要な医療行為を行うことで、当該児の安全な学校生活および学習機会を確保することができた。 医療的ケア児：R6 1人 内 容：給食前の血糖値測定とインスリン投与			〔今後の課題・方向性など〕 今後、当該児をはじめ医療的ケアを必要とする児童生徒の安全な学校生活および学習機会を確保できるよう、引き続き確実な看護師の派遣に努める。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		小浜の未来を担う総合教育事業			
予算額		2,893,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		2,365,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 児童生徒が地域の現状をもとに自ら課題を設定し、様々な人と協働して課題解決に取り組む探究的なふろさと学習を通して、郷土への愛着と誇りを根幹に「志」を持って学びに向かう力を育んだ。			〔今後の課題・方向性など〕 小中学校のふろさと学習の充実により、高校における探究学習へと繋がっている。こうした小中高の継続した取組について、地域に積極的かつ分かりやすく発信していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		ふれあいスクール事業			
予算額		14,209,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		7,236,000 円
決算額		12,529,394 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 年間を通して、「学校へ行けない、行きづらい」といった悩みを持つ児童生徒や保護者への教育相談を実施したほか、学校と連携し保護者と協力しながら、通所生一人ひとりに応じた学習指導や集団生活への適応指導などの支援を行うことができた。 (令和6年度通所生:7名 うち学校復帰:4名) 令和6年7月1日からの旧遠敷小学校での開所に向けて施設の必要な改修等を行い、児童生徒への適切な学習環境を整備することができた。			〔今後の課題・方向性など〕 新たな場所に移転したふれあいスクールにおいて、引き続き不登校児童生徒への支援や関係機関との連携強化を図っていく。 不登校の児童生徒とその保護者が抱える課題は多岐にわたっておりその実態は多様化している。そのため、それぞれの状況に応じたきめ細やかな支援や対策がこれまで以上に求められる。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		教育指導関係経費			
予算額		8,493,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		2,347,000 円
決算額		8,464,343 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 令和7年4月に中学校教科書が改訂されることに伴い、 教師用教科書および指導書を整備することができた。 特に、デジタル教科書、指導書が整備できたことで、 今後授業DXの推進を図ることができる。			〔今後の課題・方向性など〕 今後も引き続き4年ごとの教科書改訂に伴う教師用教科書 および指導書の整備を行っていく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		学校生活支援員設置事業			
予算額		42,692,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		41,011,841 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 特別支援学級や通常学級で特別に支援を要する児童生徒が在籍する学校に対し、計22名の学校生活支援員を配置して学校生活を支援することで、落ち着いて学級での学習活動に取り組めるようになった。			〔今後の課題・方向性など〕 支援が必要な児童生徒の増加、個別対応の必要性、そして児童生徒の安心・安全の確保など、学校における支援のあり方は多様化している。こうした状況に対応するため、今後も引き続き学校生活支援員の充実を図る必要がある。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		資質能力育成対策事業			
予算額		13,667,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		10,731,102 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 授業力アップの研究指定校である小浜美郷小学校と小浜第二中学校の実践を中心に、各小中学校において児童生徒の資質能力の育成を図るための教員による授業づくり研修や、学習指導方法、評価方法等の研究に取り組み、教員の授業力の向上を図ることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 授業力アップ研究指定校2校の2年間の取組から、教科等の中で育成を目指す資質能力を小中学校間で共有し、協働して研究を進めていくことの難しさが課題として挙がってきた。今後、現在進めている学校DX推進を加速させ、ICTやクラウドを校務・授業・研修のすべてにおいて効果的に活用していくことによって、この課題解決を図っていく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		リーディングDXスクール事業			
予算額		955,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		944,890 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 リーディングDXスクール事業指定校であった小浜中学校、雲浜小学校教員が県外の先進地視察を行ったことで、両校でのDX推進を急速に進めることができた。また、両校にアドバイザーを配置し先進的な実践事例を公開授業等で発信することで、市内小中学校にDXに関する取組を横展開し、広げることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 授業においては、子どもの「深い学び」を実現するための、より効果的なICT活用が課題となった。また、市内の学校間や教員間の活用や意識の格差も課題となっている。引き続き、市内のすべての学校で校務、授業、研修においてDX推進に一貫して取り組むとともに、市内先進校の実践を市内外に広く発信していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事業名		物価高騰対策学校給食費緊急支援事業			
予算額		9,570,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		9,497,227 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 学校給食食材にかかる物価高騰相当費用を市が負担することにより、保護者の負担軽減や給食の質・量を維持することができた。			〔今後の課題・方向性など〕 引き続き、学校給食の充実と物価高騰の状況に応じた支援について検討していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費
事業名		小学校施設改修事業			
予算額		4,629,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,449,500 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 安全面・機能面での緊急性や必要性を勘案した優先的施設改修の実施により、小学校施設の安全対策や環境整備を図ることができた。 ・西津小学校給食室屋上防水他工事 ・内外海小学校ボイラー庫スチールドア取替工事 ・加斗小学校パソコン室エアコン取替工事			〔今後の課題・方向性など〕 小学校施設の老朽化が進み、改修箇所が増えてきている状況であり、計画的な施設改修や設備更新を行っていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
事業名		小学校スクールバス運行事業			
予算額		82,182,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		78,652,120 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 徒歩または公共交通機関の利用による登下校が困難な地域に居住する児童のためにスクールバスを運行し、登下校における児童の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。 スクールバス運行校： 内外海小学校、小浜美郷小学校、加斗小学校			〔今後の課題・方向性など〕 スクールバス運行に要する経費の財源確保に向け、引き続き国や県に対して支援制度の拡充などを要望するとともに、効率的なスクールバスの運行を検討していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
事業名		小学校要保護・準要保護・特別支援就学助成事業			
予算額		10,600,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,617,708 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 経済的理由により就学困難な児童の保護者や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、学用品費などを支給し経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施および特別支援教育の普及奨励を図ることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 支援を必要とする保護者が本制度を活用できるよう、引き続き効果的な周知に取り組む。		
準要保護 114名 7,366,147円 要保護 1名 5,833円 特別支援 44名 1,245,728円					

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費
事業名	中学校施設改修事業				
予算額	14,662,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額	12,443,101 円		次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 安全面・機能面での緊急性や必要性を勘案した優先的施設改修の実施により、中学校施設の安全対策や環境整備を図ることができた。 ・小浜中学校北館床改修工事 ・小浜中学校北館換気扇 ・小浜中学校仕切弁取替工事 ・小浜中学校自転車置場照明器具取替工事 ・小浜第二中学校南館北面外壁改修(第3期)工事 ・小浜第二中学校プール横ブロック解体工事			〔今後の課題・方向性など〕 中学校施設の老朽化が進み、改修箇所が増えてきている状況であり、計画的な施設改修や設備更新を行っていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
事業名		中学校通学費助成事業			
予算額		4,940,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,636,621 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 遠距離通学生徒に対して市が通学費の一部を助成することにより、保護者の負担軽減を図ることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 生徒の通学方法などの状況を踏まえ、必要に応じて現行制度の見直しを検討していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

教育総務課

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
事業名		中学校要保護・準要保護・特別支援就学助成事業			
予算額		12,213,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		11,088,678 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 経済的理由により就学困難な生徒の保護者や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、学用品費などを支給し経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な実施および特別支援教育の普及奨励を図ることができた。 準要保護 102名 10,015,410円 要保護 対象者なし 特別支援 24名 1,073,268円			〔今後の課題・方向性など〕 支援を必要とする保護者が本制度を活用できるよう、引き続き効果的な周知に取り組む。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

生涯学習スポーツ課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	1 社会教育総務費
事業名		子ども教室事業			
予算額		941,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		940,080 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地区コミュニティセンターが中心となり、小学生から中学生の子どもを対象に、放課後や休日に体験活動や各種教室を実施し、子どもたちに多様な学びの場を提供することができた。 〔令和6年度実績〕 ・実施数 60教室 （令和5年度 54教室） ・参加人数(子ども) 延べ2,945人 （令和5年度 2,762人）			〔今後の課題・方向性など〕 子どもたちの学校外での居場所作りや学びの場の提供を目的とした事業を引き続き実施していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

生涯学習スポーツ課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	1 社会教育総務費
事業名		社会教育諸団体活動推進事業			
予算額		1,706,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,382,860 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 市の社会教育事業をはじめ、市の活性化やまちづくりに貢献している社会教育団体を支援し、生涯学習および青少年の健全な育成を図ることができた。 ・小浜市子ども会育成連合会 ・小浜市青少年健全育成協議会（子ども安心県民作戦） ・小浜海洋少年団 ・小浜少年少女合唱団 ・小浜市PTA連合会			〔今後の課題・方向性など〕 補助金を適正に執行するとともに、活動内容について助言を行い、引き続き関係団体を支援していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

生涯学習スポーツ課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 文化会館費
事業名		文化会館耐震改修事業			
予算額		20,787,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,400,000 円	次年度への繰越額		16,387,000 円
〔成果〕 文化会館耐震工事設計業務（前払金:4,400,000円） 契約額 14,960,000円 業務内容 耐震補強計画・特定天井実施設計 アスベスト調査			〔今後の課題・方向性など〕 耐震補強実施設計、施設改修実施設計、是正箇所等実施設計を進める。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

生涯学習スポーツ課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 文化会館費
事業名		文化振興事業			
予算額		3,700,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,700,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 ①文芸振興事業補助金（補助額：3,000,000円） 市民からの提案事業及び文化会館自主事業の実施により、多くの市民へ上質な芸術鑑賞の機会を提供することができた。 〔令和6年度実績〕 ・令和6年9月8日_北海道歌旅座昭和の歌コンサート （文化会館自主事業） ・令和6年12月8日_第31回記念若狭小浜第九演奏会 （小浜第九実行委員会） ・令和7年2月23日_それいけ音楽会 （それいけ音楽会実行委員会） ②文化協会活動推進補助金（補助額：700,000円） 小浜市美術展及び小浜市総合文化祭等の開催、文化協会加盟団体の年間事業に対する補助を実施し、市民による芸術体験及び創造の場を創出することができた。			〔今後の課題・方向性など〕 文化芸術への関心を市民に喚起させるためのイベントの企画創出および市民による自発的な文化芸術活動の促進を図っていく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

生涯学習スポーツ課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	5 文化会館費
事業名		「ちりとてちん」ホームグラウンド事業			
予算額		3,624,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,444,270 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 上方落語協会に所属するプロの落語家による落語会・全国のアマチュア女性落語家を対象にした落語大会・市内の各地域の住民へ落語に親しむ機会を創出するための地域落語会の三本柱で事業を実施し、本市の落語事業の充実を図ると共に、同事業を通じて本市が落語のまちであることを全国にPRすることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 全国女性落語大会・地域落語会・学生落語合宿促進事業などを継続・実施し本市に落語文化を根付かせるとともに、本市の観光事業と連携して経済の活性化にも取り組んでいく。		
〔令和6年度実績〕 ①旭座上方落語会実施（委託料：1,562,000円） 第20回落語会 令和6年8月25日実施 観覧者数_63名 第21回落語会 令和7年3月9日実施 〃 _67名 ②第16回ちりとてちん杯全国女性落語大会開催補助金（補助額：1,378,270円） 同大会の予選会を9月28日、 決勝大会を9月29日に開催した。 出場者_97名（定員100名）/ 観覧者数総計：200名 ③ちりとて落語の会補助金（補助額：504,000円） 4月7日 霞の新治旭座独演会 8月17日 加斗コミュニティセンター地域落語会 8月18日 桂福丸夏休み旭座落語会 9月6日～8日 おばま学生落語祭り 9月27日 第16回ちりとてちん杯全国女性落語大会前夜祭 11月6日 内外海小・中名田小学校出前落語会 12月1日 林家染二独演会					

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	6 文化財保護費
事業名		おばまだからできること。文化財保存活用促進事業			
予算額		1,500,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,400,085 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 クラウドファンディングをはじめとした文化財保存資金の調達を支援するとともに、文化財の活用事業を促進し、歴史文化ストーリーを活かした来訪者の受入環境整備に繋げることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 クラウドファンディングをはじめとした文化財保存資金調達の取組の横展開。更なる情報発信等により、来訪者の受入増を図っていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	6 文化財保護費
事業名		若狭彦神社（上社）修理事業			
予算額		9,680,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		9,677,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 若狭彦神社本殿の屋根修理を行うことにより、当該文化財を風雨等から守ることができ、貴重な文化財を後世に守り継いでいくことができる。また、威容を取り戻した本殿を誘客促進やまちづくりに活かすことができる。			〔今後の課題・方向性など〕 今後は経年劣化が進む神門屋根と隨身門屋根の修理を予定しており、それらを行うことにより若狭彦神社は威容を取り戻すことができる。今後は周辺樹木の伐採や剪定を進めるなど、文化財所有者は文化財の維持管理を積極的に行っていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	6 文化財保護費
事業名		名勝萬徳寺庭園書院屋根修理事業			
予算額		1,403,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,401,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 名勝書院庭園屋根の修理を行うことにより、風雨等から貴重な文化財を守ることができるとともに、観光誘客に寄与することができた。			〔今後の課題・方向性など〕 名勝萬徳寺庭園書院の屋根は茅葺きということもあり、文化財所有者は差し茅など維持管理を積極的に行っていく必要がある。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	6 文化財保護費
事業名		登録文化財「洗心館」修繕事業			
予算額		1,422,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,141,070 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 国の登録文化財である小浜中学校内の「洗心館」について、傷みの激しい窓などの建具の修繕を学生のワークショップを取り入れながら行い、安全性を確保した。			〔今後の課題・方向性など〕 今後の学校行事や総合的学習への活用に繋げていく。		

令和6年度

一般会計

産業部

文化観光課

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	6 文化財保護費
事業名		重伝建地区保存修理事業補助金			
予算額		28,649,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		28,649,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 重伝建地区内のまち並みを整備するため、修理・修景基準に準じた改修6件に対し補助を行った。平成21年度より累計109件の物件改修が実施され、景観形成事業も合わせて行い、小浜西組の面的整備を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 状態の悪い建物が増えてきており、市外在住所有者との協議や、費用を抑えた施工方法等、文化財所有者の負担軽減措置についても検討していく必要がある。		

款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	6 文化財保護費
事業名		史跡後瀬山城跡整備事業			
予算額		8,485,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,390,755 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 平成28年10月に若狭武田氏館跡(旧小浜小学校跡)が国史跡後瀬山城跡に追加指定となり、平成30年度に保存活用計画、令和2年度には整備基本計画を策定した。令和5年度は令和3・4年度の発掘調査成果を整理するとともに、航空レーザー測量および赤色立体地図作成、地中レーダー探査も実施し、発掘調査報告書としてまとめ刊行した。令和6年度は基本設計の策定を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 令和7年度は史跡内の実施設計、令和8年度から環境整備事業として工事に着手し史跡公園化を進めていく。予定では令和13年度に工事は終了し、令和14年度から共用開始予定である。		

令和6年度		一般会計		教育委員会		生涯学習スポーツ課	
款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	8 図書館費		
事業名		図書館運営管理費					
予算額		69,417,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額		22,380,000 円	
決算額		67,396,995 円		次年度への繰越額		0 円	
〔成果〕 図書、その他必要な資料の収集に努めることで図書館の適正な運営管理を行った。 また、5.6階照明器具のLED化やエレベータの改修を行い設備の改善を図ることで、利用者により良い読書環境を提供し、利用者の拡大に繋げることができた。 - 令和6年度貸出冊数 88,592冊 (5年度 86,941冊) - 令和6年度貸出人数(個人)延べ14,796人 (5年度 延べ14,626人) - 工事請負費 市立図書館5.6階照明器具LED化工事 9,020,000円 - 負担金及び交付金 白鬚業務棟特別分担金(白鬚業務棟昇降機改修工事清算金) 22,380,000円				〔今後の課題・方向性など〕 幅広い年齢層が参加できるイベントを実施するとともに、特に利用が少ない中高生の読書への関心を高め中高生を含めた新たな利用者の拡大に繋げるため、高校生ボランティアを活かした図書館運営を行う。 また、施設の状況を把握し計画的に修繕を行うことで、安全な施設維持に努める。			

令和6年度		一般会計		教育委員会		生涯学習スポーツ課	
款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	2 体育振興費		
事業名		まちづくりスポーツ振興事業					
予算額		9,877,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額		0 円	
決算額		8,978,493 円		次年度への繰越額		0 円	
〔成果〕 各種スポーツ教室や大会、スポーツ団体の活動を支援し、スポーツ活動を普及・推進に務めた。 ・第41回OBAMA若狭マラソン大会 エントリー数 1,608件 ・小浜市スポーツ協会 市民体育祭、地区対抗スポーツ大会6種目 地区・種目団体 大会・教室等75回 ・県民スポーツ祭参加競技数(男女計) 29件 ・小浜市スポーツ少年団(13団体) 250人				〔今後の課題・方向性など〕 スポーツ団体の活動等を支援するとともに、市民の体力づくりやスポーツ交流等を促進していく。			

令和6年度

一般会計

教育委員会

生涯学習スポーツ課

款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	2 体育振興費
事業名		中学部活動の地域移行推進事業			
予算額		4,190,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		3,927,430 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 総括コーディネーター(1名配置)を中心に関係団体等と協議・調整を行い、6種目において学校部活動の受け皿となる休日活動を実施した。 令和5年度開始：ソフトボール・バスケットボール・卓球・柔道 令和6年度開始：軟式野球・バレーボール			〔今後の課題・方向性など〕 中学生が休日の活動を幅広く選択できるように、地域団体・学校・保護者等と今後のスポーツ・文化活動の目指す姿を共有しながら、地域の各競技・活動団体が継続して活動できるように支援していく。		

令和6年度

一般会計

教育委員会

生涯学習スポーツ課

款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	3 体育施設費
事業名		市営体育施設管理事業			
予算額		113,131,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		111,922,839 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 指定管理者制度の導入による市民サービスの向上と、総合運動場多目的グラウンドおよびテニスコートの照明LED化、各施設の修繕等により施設利用者の利便性、施設の機能向上が図れた。 〔令和6年度実績〕 ＜市営体育施設利用者数＞ 141,186人 （令和5年度 130,235人） （内訳）市民体育館 69,455人 総合運動場他 71,731人 ＜工事請負費＞ ・総合運動場多目的グラウンド、テニスコート照明設備改修工事 64,790,000円 ＜修繕料＞ ・総合運動場 会議室・救護室空調設備入替修繕 2,893,000円 ・総合運動場ゲートボールベンチ修繕 462,000円 ・市民体育館観覧席上部ガラス修繕 349,000円			〔今後の課題・方向性など〕 照明LED化や施設改修等を計画的に実施し、安心・安全なスポーツ環境の整備に取り組んでいく。		

款	10 教育費	項	6 保健体育費	目	6 温水プール費
事業名		若狭総合公園温水プール管理費			
予算額		59,701,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		58,928,225 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 福井県指定管理者制度基本条例第1条に基づき、県から小浜市が指定管理者として指定を受けた若狭総合公園の一部として、温水プールの適正な運営管理を行った。 令和6年度温水プール利用者数 29,220人 （参考 令和5年度 27,367人） 民生部が実施する「小浜市高齢者体力づくり支援事業」や、利用者を女性に限定したレディースタイムの定着に加え、60歳以上の女性を対象としたアクアビクス教室を開催するなど、利用者の増加が図れた。			〔今後の課題・方向性など〕 スポーツ環境の整備のため、施設の老朽化に対し計画的な改修を行う必要がある。 施設の利用促進を図るため、新規利用者の獲得に努める。		

特 別 会 計

国民健康保険事業特別会計		56
後期高齢者医療特別会計		59
介護保険事業特別会計		60
産業団地整備事業特別会計		65

国民健康保険事業
特別会計

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	2 保険給付費	項	1 療養諸費	目	1 一般被保険者療養給付費
事業名		一般被保険者療養給付費			
予算額		1,772,271,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,678,102,766 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 ・ 75,016件 1,678,102,766円			〔今後の課題・方向性など〕 医療の高度化や被保険者の高齢化等により、医療費が増加する見込みであり、国民健康保険制度の安定化を図ることが課題である。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	2 保険給付費	項	1 療養諸費	目	3 一般被保険者療養費
事業名		一般被保険者療養費			
予算額		15,172,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		14,177,306 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 ・ 2,628件 14,177,306円			〔今後の課題・方向性など〕 医療の高度化や被保険者の高齢化等により、医療費が増加する見込みであり、国民健康保険制度の安定化を図ることが課題である。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	2 保険給付費		項	2 高額療養費		目	1 一般被保険者高額療養費	
事業名		一般被保険者高額療養費						
予算額		307,085,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額			0 円	
決算額		283,142,485 円		次年度への繰越額			0 円	
〔成果〕 ・ 4,548件 283,142,485円				〔今後の課題・方向性など〕 医療の高度化や被保険者の高齢化等により、医療費が増加する見込みであり、国民健康保険制度の安定化を図ることが課題である。				

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	3 国民健康保険事業費納付金	項	1 医療給付費分	目	1 一般被保険者医療給付費分
事業名		一般被保険者医療給付費分納付金			
予算額		473,132,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		473,131,495 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 平成30年度から福井県が国民健康保険の財政運営の責任主体となっており、福井県に一般被保険者の医療給付費分、後期高齢者医療への支援金分および介護保険制度に係る第2号被保険者（40歳～64歳）負担分を納付した。 ・ 介護保険第2号被保険者数 R7.3.31現在：1,459人			〔今後の課題・方向性など〕 令和12年度の国民健康保険税水準の県内統一に向けて、納付金を確実に納付し、かつ被保険者の負担が過度に大きくならないよう、国民健康保険基金を計画的に活用した国民健康保険税の改定を進めていく必要がある。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	3 国民健康保険事業費納付金	項	2 後期高齢者支援金等分	目	1 一般被保険者後期高齢者支援金等分
事業名		一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金			
予算額		186,359,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		186,358,409 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 平成30年度から福井県が国民健康保険の財政運営の責任主体となっており、福井県に一般被保険者の医療給付費分、後期高齢者医療への支援金分および介護保険制度に係る第2号被保険者（40歳～64歳）負担分を納付した。 ・介護保険第2号被保険者数 R7.3.31現在：1,459人			〔今後の課題・方向性など〕 令和12年度の国民健康保険税水準の県内統一に向けて、納付金を確実に納付し、かつ被保険者の負担が過度に大きくならないよう、国民健康保険基金を計画的に活用した国民健康保険税の改定を進めていく必要がある。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	3 国民健康保険事業費納付金	項	3 介護納付金分	目	1 介護納付金分
事業名		介護納付金分納付金			
予算額		59,129,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		59,128,944 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 平成30年度から福井県が国民健康保険の財政運営の責任主体となっており、福井県に一般被保険者の医療給付費分、後期高齢者医療への支援金分および介護保険制度に係る第2号被保険者（40歳～64歳）負担分を納付した。 ・介護保険第2号被保険者数 R7.3.31現在：1,459人			〔今後の課題・方向性など〕 令和12年度の国民健康保険税水準の県内統一に向けて、納付金を確実に納付し、かつ被保険者の負担が過度に大きくならないよう、国民健康保険基金を計画的に活用した国民健康保険税の改定を進めていく必要がある。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

子ども未来課

款	6 保健事業費	項	1 特定健康診査等事業費	目	1 特定健康診査等事業費
事業名		特定健康診査等事業			
予算額		35,393,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額	0 円	
決算額		30,618,202 円	次年度への繰越額	0 円	
〔成果〕 ① 対象者への受診券の送付や、広報・ホームページ等による受診勧奨とともに、前年度集団健診受診者を予約不要とし、集団健診を継続して受診しやすい体制を整備した。 ＜特定健康診査受診率＞ R2：36.0%、R3：37.1%、R4：41.5% R5：41.7%（確定値）、R6：44.6%（速報値） ② 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、40歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対し、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査・特定保健指導」を実施した。 ＜特定保健指導実施率＞ R2：49.2%、R3：51.8%、R4：40.2% R5:35.0%（確定値）、R6：45.5%（速報値）			〔今後の課題・方向性など〕 さらなる受診率の向上、特定保健指導実施率とデータ改善者数の向上、医療と連携した効果的な重症化予防保健指導の実施が課題である。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

子ども未来課

款	6 保健事業費	項	1 特定健康診査等事業費	目	1 特定健康診査等事業費
事業名		国保ヘルスアップ事業			
予算額		13,132,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額	0 円	
決算額		7,749,205 円	次年度への繰越額	0 円	
〔成果〕 国保保健指導事業にかかる助成(国10/10)を受け、特定健診の受診率向上に向けて未受診者対策を実施した。 委託先：(株)キャンサースキャン 実施内容： ・未受診者の属性の区分け、受診確率、優先順位を算出するためのデータ分析 ・未受診者への受診勧奨通知の作成と送付			〔今後の課題・方向性など〕 集団健診の継続受診率に加え、個別健診の継続受診率向上のために、医師会との連携を強化していく。 勧奨通知等の効果検証を繰り返していくことで、国の目標とする市町被保険者受診率60%を目指す。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	6 保健事業費	項	2 保健事業費	目	1 保健普及費
事業名		健康づくり事業			
予算額		6,601,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		4,930,692 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 被保険者の健康への認識を高め、適正受診の推進を図った。（医療費通知、後発医薬品差額通知等） ・事業費 1,747,936円 疾病を予防し、健康づくりを推進するため、啓発活動の充実を図った。また、人間ドック助成を行い、被保険者の健康維持に努めた。 ・事業費 3,182,756円			〔今後の課題・方向性など〕 被保険者の効果的・魅力的な健康増進を図る。		

令和6年度

国民健康保険事業特別会計

民生部

市民福祉課

款	6 保健事業費	項	2 保健事業費	目	1 保健普及費
事業名		高齢者体力づくり支援事業			
予算額		1,308,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,304,310 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 温水プール利用助成等、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを支援し、要介護者の減少と医療費の適正化を図った。 ・事業費 970,350円			〔今後の課題・方向性など〕 高齢者の効果的・魅力的な健康増進を図る。		

後期高齢者医療 特別会計

款	2 後期高齢者医療広域連合納付金	項	1 後期高齢者医療広域連合納付金	目	1 後期高齢者医療広域連合納付金
事業名		後期高齢者医療広域連合納付金			
予算額		466,171,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		461,703,895 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 本市の後期高齢者医療制度加入者から徴収した保険料および一般会計から繰り入れた低所得者等の保険料軽減分相当額等を、福井県後期高齢者医療広域連合へ納付することで、後期高齢者医療制度の財源を確保し、本制度の安定した運営を図った。			〔今後の課題・方向性など〕 医療費の増加に伴い保険料が増加する。		
令和6年4・5月収納特別徴収分還付金（令和5年度分） △7,500円 令和6年4・5月収納普通徴収分（令和5年度分） 1,151,200円 ・特別徴収保険料 238,790,200円 ・現年度分普通徴収保険料（R6年4・5月収納分は除く） 123,793,100円 ・滞納繰越分普通徴収保険料 1,217,300円 ・延滞金 41,700円 ・保険基盤安定分 96,717,895円 合 計 461,703,895円 ・後期高齢者医療制度の財源 公費：各保険者からの支援金：加入者の保険料＝5：4：1					

介護保険事業特別会計

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	1 総務費	項	3 介護認定審査会費	目	1 介護認定審査会費
事業名		介護認定審査会費			
予算額		28,038,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		27,928,041 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 構成4市町（小浜市、おおい町、高浜町、若狭町）の介護認定審査会業務を若狭広域行政事務組合で取りまとめることで、介護認定審査会業務の効率化を図ることができた。			〔今後の課題・方向性など〕 構成4市町と若狭広域行政事務組合が連携し、引き続き介護認定審査会業務の効率化を図る。円滑なシステム標準化が行えるよう、関係者で手順を協議し手続きを進める。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	1 総務費	項	3 介護認定審査会費	目	2 認定調査等費
事業名		認定調査費等			
予算額		19,967,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		16,849,189 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 本市訪問調査員のほか、居宅介護支援事業所や介護施設の職員等への委託により、被保険者の要介護認定調査を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 要介護認定調査での対応や調査票作成に関し、介護認定審査会での評価に差異が生じないように、保険者として調査員指導を行うことで、調査の標準化を図る。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	1 居宅介護サービス給付費
事業名		居宅介護サービス給付費			
予算額		1,270,392,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,222,391,049 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 年間延べ9,804人（月平均817人）の介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、居宅介護サービス費を給付した。 （利用者1人当たりの給付額 124,683円）			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	3 地域密着型介護サービス給付費
事業名		地域密着型介護サービス給付費			
予算額		446,826,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		407,822,763 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地域密着型介護サービス利用者数は月平均で162人、年間延べ1,938人であった。 (利用者1人当たりの給付額 210,435円)			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	5 施設介護サービス給付費
事業名		施設介護サービス給付費			
予算額		1,242,121,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		1,240,354,747 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 施設介護サービス利用者数は月平均で355人、年間延べ4,260人であった。 (利用者1人当たりの給付額 291,163円)			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	1 介護サービス等諸費	目	9 居宅介護サービス計画給付費
事業名		居宅介護サービス計画給付費			
予算額		159,062,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		159,061,358 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 要介護と認定された方のうち、在宅でサービスを受ける年間延べ9,804人の居宅介護サービス計画（ケアプラン）を作成した。（月平均817人）			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	1 介護予防サービス給付費
事業名	介護予防サービス給付費				
予算額	54,401,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額	54,326,077 円		次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 年間延べ2,305人（月平均192人）の介護予防サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護予防サービス費を給付した。 （利用者1人当たりの給付額 23,569円）			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	3 地域密着型介護予防サービス給付費
事業名		地域密着型介護予防サービス給付費			
予算額		9,789,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		6,272,793 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地域密着型介護予防サービス利用者数は、月平均6人、年間延べ72人であった。 (利用者1人当たりの給付額 87,122円)			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	2 介護予防サービス等諸費	目	7 介護予防サービス計画給付費
事業名	介護予防サービス計画給付費				
予算額	11,300,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円	
決算額	11,299,707 円	次年度への繰越額		0 円	
〔成果〕 要支援と認定された方のうち、在宅でサービスを受ける年間延べ2,305人の介護予防サービス計画（ケアプラン）を作成した。（月平均192人）			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	2 保険給付費	項	8 特定入所者介護サービス等費	目	1 特定入所者介護サービス費
事業名		特定入所者介護サービス費			
予算額		68,119,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		66,240,402 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 施設入所者のうち、低所得者の食費・居住費の一部について負担軽減を図るための補足的給付であり、利用者は月平均206人、年間延べ2,471人であった。 （利用者1人当たりの給付額 26,807円）			〔今後の課題・方向性など〕 後期高齢者の増加に伴う介護給付費の増加が見込まれるため、介護予防に係る事業を更に充実していくことで、急激な給付費の増加を抑制していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	5 地域支援事業費	項	3 介護予防・生活支援サービス事業費	目	1 介護予防・生活支援サービス事業費
事業名	訪問型サービス（第1号訪問事業）				
予算額	11,605,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円	
決算額	11,519,817 円	次年度への繰越額		0 円	
〔成果〕 生活機能の低下がみられる人や要支援認定を受けた人を対象に、掃除・洗濯・調理などの日常生活上の支援を行った。			〔今後の課題・方向性など〕 対象者への効果的・効率的な支援を行う。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	5 地域支援事業費	項	3 介護予防・生活支援サービス事業費	目	1 介護予防・生活支援サービス事業費
事業名		通所型サービス（第1号通所事業）			
予算額		23,574,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		22,349,924 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 生活機能の低下がみられる人や要支援認定を受けた人を対象に、生活機能向上のための体操や筋力トレーニングなどを行った。			〔今後の課題・方向性など〕 対象者への効果的・効率的な支援を行う。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	5 地域支援事業費	項	4 一般介護予防事業費	目	1 一般介護予防事業費
事業名		介護予防普及啓発事業			
予算額		21,045,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		19,812,534 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 65歳以上の高齢者を対象に介護予防の基本的な知識の普及と運動の実践の場を提供する。様々なニーズに対応した教室等を実施した。 〔各教室参加延べ人数〕 ・高齢者栄養改善教室 187人 ・出前講座 157人 ・ココカラ元気教室 1,908人 ・元気アップ教室 1,311人 ・いきいき百歳体操教室 270人			〔今後の課題・方向性など〕 教室終了後も継続して自主的に介護予防に取り組めるよう、歩いて行ける通いの場を立上げる団体への支援の周知に力を入れていく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	5 地域支援事業費	項	4 一般介護予防事業費	目	1 一般介護予防事業費
事業名		地域介護予防活動支援事業			
予算額		13,361,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		12,056,960 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 地域において、高齢者の自主的な介護予防に資する活動が広く実施された。 ・ふれあいサロン設置数 116地区 ・ふれあいサロン参加者 延べ 8,119人			〔今後の課題・方向性など〕 地域内の高齢者同士の繋がり強化のため、サロン未設置地区への働きかけや、地域のリーダー、サロン講師の育成等について検討していく必要がある。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	5 地域支援事業費	項	5 包括的支援事業・任意事業費	目	4 任意事業費
事業名		家族介護支援事業			
予算額		10,292,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,944,097 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 介護用品支給事業 8,271,167円 在宅で要介護2以上の介護認定を受けた方に、介護用品（紙おむつ）購入費の一部を助成することにより、介護する家族の身体的・精神的・経済的負担が軽減され在宅生活における福祉の向上が図られた。 ※利用者本人が非課税対象者の場合、任意事業該当 〔延べ助成者数〕557人			〔今後の課題・方向性など〕 介護用品（紙おむつ）支給にかかる財源の見通しを立てながら、事業を継続していく。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	5 地域支援事業費	項	5 包括的支援事業・任意事業費	目	4 任意事業費
事業名		地域自立生活支援事業			
予算額		10,316,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		8,663,319 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 緊急通報装置貸与事業 4,952,085円 ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に緊急通報装置を貸与し、病気等の緊急時に迅速かつ適切な対応を行うことにより、安心できる生活を提供することができた。 ・利用者数 146人			〔今後の課題・方向性など〕 現在貸与している装置の老朽化に伴う、新しい装置への交換の必要性の検討。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	5 地域支援事業費	項	5 包括的支援事業・任意事業費	目	9 地域包括支援センター運営事業費
事業名		地域包括支援センター運営事業			
予算額		18,416,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		18,416,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 社会福祉協議会への地域包括支援センターの設置と業務委託。 管轄地域：7地区（国富、宮川、松永、遠敷、今富、口名田、中名田地区） 管轄地域65歳以上人口 4,475人（全域9,216人（施設83人 託含）） ・介護予防支援事業ケアプラン作成 640件 ・介護予防ケアマネジメント事業 ケアプラン作成 432件 ・総合相談実績 2,348件			〔今後の課題・方向性など〕 現在、地域包括支援センターを2か所に設置しており、その内1か所を市内の社会福祉法人に委託しているが、令和7年度を準備期間とし、令和8年度からは、民間の専門性と市の統括調整機能を活かした相談支援業務等、更なる充実および機能強化に向けて、もう1か所についても民間への委託をすすめる。		

令和6年度

介護保険事業特別会計

民生部

高齢・障がい者元気支援課

款	6 保健福祉事業費	項	1 保健福祉事業費	目	1 保健福祉事業費
事業名	介護用品支給事業				
予算額	1,299,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額	0 円	
決算額	1,298,172 円		次年度への繰越額	0 円	
〔成果〕 介護用品支給事業 1,277,602円 在宅で要介護2以上の介護認定を受けた方に、介護用品（紙おむつ）購入費の一部を助成することにより、介護する家族の身体的・精神的・経済的負担が軽減され在宅生活における福祉の向上が図られた。 ※利用者本人が課税対象者の場合、保健福祉事業該当延べ助成者数 169人			〔今後の課題・方向性など〕 介護用品（紙おむつ）支給にかかる財源の見通しを立てながら、事業を継続していく。		

産業団地整備事業特別会計

款	1 産業団地事業費	項	1 産業団地事業費	目	2 産業団地整備事業費
事業名		県営産業団地整備事業費負担金			
予算額		31,400,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		29,530,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 福井県が主体となつて行う産業団地整備について、事業費の1/3を負担した。 ・整備負担金：県2/3・市1/3 ・整備対象地：小浜市平野地係 ・開発面積（予定）：約30.5ha ・分譲開始（予定）：令和10年度			〔今後の課題・方向性など〕 県と連携し産業団地の早期完成を目指すとともに、「小浜市企業誘致戦略」に基づく企業誘致により早期売却に努める。		

企 業 会 計

水道事業会計	66
下水道事業会計	67

水道事業会計

款	資本的支出	項	建設改良費	目	水源及び配水設備改良費
事業名		簡易水道統合事業、管路耐震化・更新事業			
予算額		184,612,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		27,794,000 円
決算額		148,949,300 円	次年度への繰越額		3,255,000 円
〔成果〕 上水道事業への統合が位置つけられている宮川、太良庄簡易水道について布設工事を行った。 ・太良庄配水管布設（その１）（その２）工事 施行延長　L=606.1m 水道使用者へ安定して水道水を供給するため、管路の耐震化および老朽管路等の布設替えを行った。 ・伏原配水管布設替工事 施工延長　L=30.7m ・駅前町配水管布設替工事 施行延長　L=63.7m			〔今後の課題・方向性など〕 管路耐震化・更新計画や水道ビジョンに基づき、事業を実施していく。		

下水道事業会計

令和6年度

下水道事業会計（公共下水道事業）

産業部

上下水道課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設改良費
事業名		社会資本総合整備事業			
予算額		326,604,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		104,872,000 円
決算額		222,353,020 円	次年度への繰越額		87,332,000 円
〔成果〕 下水道は、快適な生活環境の形成と公共用水域の水質保全および雨水を速やかに排除し、都市の生活環境の向上を図るため、昭和58年度から事業に着手しており、令和6年度においては、汚水普及促進として今富地区などの宅地開発に合わせて公共枡設置等の工事を実施した。 ・公共枡設置工事 取付管及び公共枡設置工 N=1.0式 ・本復旧舗装工事 舗装工 A=425m2			〔今後の課題・方向性など〕 未普及箇所の下水管路整備を進めるとともに、千種排水区、水取排水区等の雨水渠整備の早期完成に向けて適切な予算の確保に努める。		

令和6年度

下水道事業会計（公共下水道事業）

産業部

上下水道課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	処理場建設改良費
事業名		社会資本総合整備事業			
予算額		120,378,000 円		予算額のうち前年度からの繰越額	16,110,000 円
決算額		78,590,000 円		次年度への繰越額	41,788,000 円
〔成果〕 劣化が進行している下水道施設（機器・施設）について計画的に改築や改修をするため、下水道ストックマネジメント計画に基づき事業を進めており、令和6年度については、小浜浄化センターの管廊施設等の改修工事等を実施した。 ・管廊施設更新（土木工事） N=1.0式 ・水処理施設更新（建築工事） N=1.0式			〔今後の課題・方向性など〕 下水道施設の第二期ストックマネジメント計画に基づき長寿命化を推進するための適切な予算確保に努める。		

令和6年度

下水道事業会計（農業集落排水事業）

産業部

上下水道課

款	資本的支出	項	建設改良費	目	管渠建設改良費
事業名		機能強化事業			
予算額		33,450,000 円	予算額のうち前年度からの繰越額		0 円
決算額		33,262,000 円	次年度への繰越額		0 円
〔成果〕 宮川および加斗農業集落排水施設の機能強化対策を実施し、施設の長寿命化を図る。 宮川 ・電気通信設備作成据付工事 N=1.0式 ・管路補修工 N=1.0式 加斗 ・事業採択書作成 N=1.0式			〔今後の課題・方向性など〕 対策工事(管路補修等)を実施することで施設の長寿命化、機能回復を図る。（～R9まで）		